

第24回「市民の声」アンケート

集 計 結 果

(令和3年度)

桐生市 市民生活部 市民相談情報課

目 次

第24回「市民の声」アンケート集計結果	1
●基本調査項目	2
●幸福実感度について	28
●シティブランディングについて	29
●生涯を通じた健康づくりについて	30
●地域医療について	30
●防災について	31
●広報について	32
●きりゅう議会だよりについて	33
●市内の移動について	35
●SDGs（エスディージーズ）について	37
●日本遺産について	39
●インターネットの利用状況について	41
●自治会・町会について	43
第24回「市民の声」アンケート自由意見集約結果	46

第24回「市民の声」アンケート集計結果

1 調査目的

市民参加による市政を進めるなかで、市政全般について市民の意識、意見などの傾向を調査し、今後の政策に反映させていくための参考資料とするもの。

2 調査項目

質問数は全体で31問。住んでいる地区、年齢、職業などの項目のほか、桐生市第六次総合計画の指標の一つである市民実感度に則った基本調査項目7問と、事業課から調査項目として要望のあった12分野24問で構成されている。また、提言、意見などを記入していただく自由意見記入欄を設けた。

3 調査設計

(1) 調査区域	市内全域
(2) 調査対象	18歳以上の市民
(3) 対象者数	2,000人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査方法	調査用紙を対象者にメール便で送付し、郵送により回収
(6) 調査期間	令和3年7月15日～31日

4 回収結果

(1) 発送調査対象数	2,000人	(A)
(2) 回収調査対象数	996人	(B)
(3) 回収率	49.8%	$(B/A \times 100)$
(4) 自由意見記入欄記載者数	369人	(726件)

5 資 料

- (1) 第24回「市民の声」アンケート集計表
- (2) 第24回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

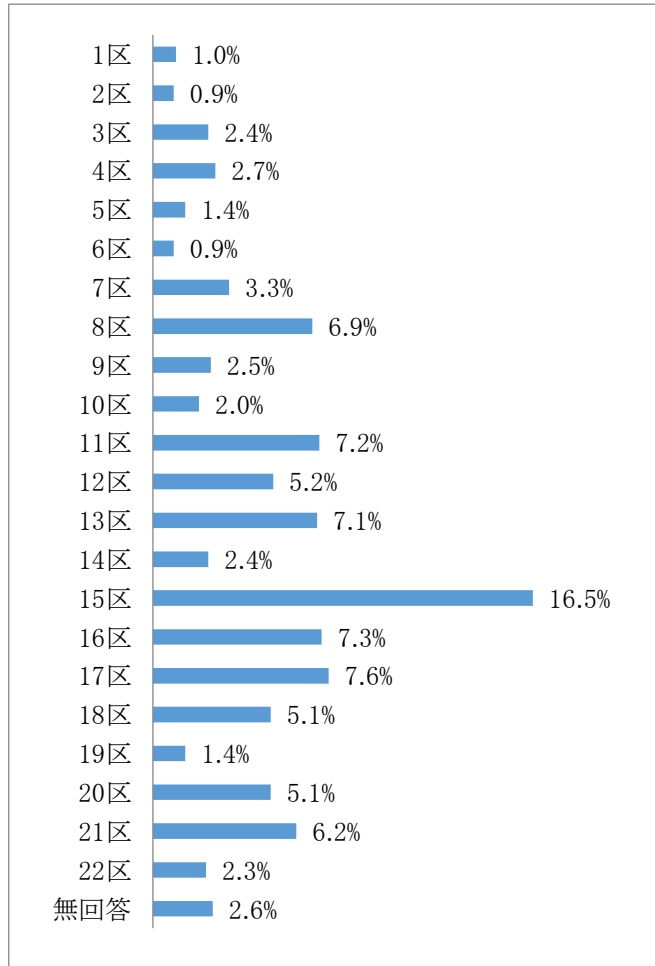
※表やグラフの作成にあたり、パーセントの算出については、小数点以下第2位を四捨五入するなどの調整を行っている。

第 24 回「市民の声」アンケート集計表

基本調査項目

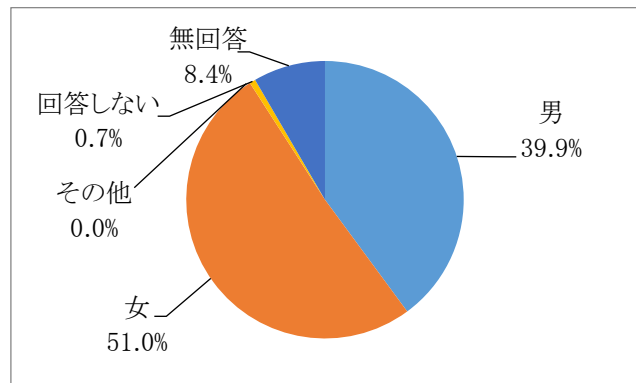
問 1 あなたのお住まいの地区に○をつけてください。

	回答数	構成比
1 区	10	1.0%
2 区	9	0.9%
3 区	24	2.4%
4 区	27	2.7%
5 区	14	1.4%
6 区	9	0.9%
7 区	33	3.3%
8 区	69	6.9%
9 区	25	2.5%
10 区	20	2.0%
11 区	72	7.2%
12 区	52	5.2%
13 区	71	7.1%
14 区	24	2.4%
15 区	161	16.5%
16 区	73	7.3%
17 区	76	7.6%
18 区	51	5.1%
19 区	14	1.4%
20 区	51	5.1%
21 区	62	6.2%
22 区	23	2.3%
無回答	26	2.6%
計	996	100.0%



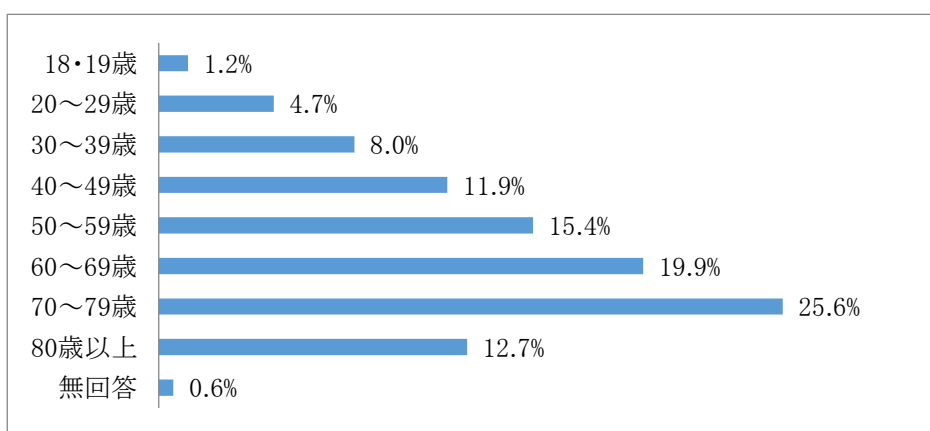
問 2 あなたの性別に○をつけてください。

	回答数	構成比
男	397	39.9%
女	508	51.0%
その他	0	0.0%
回答しない	7	0.7%
無回答	84	8.4%
計	996	100.0%



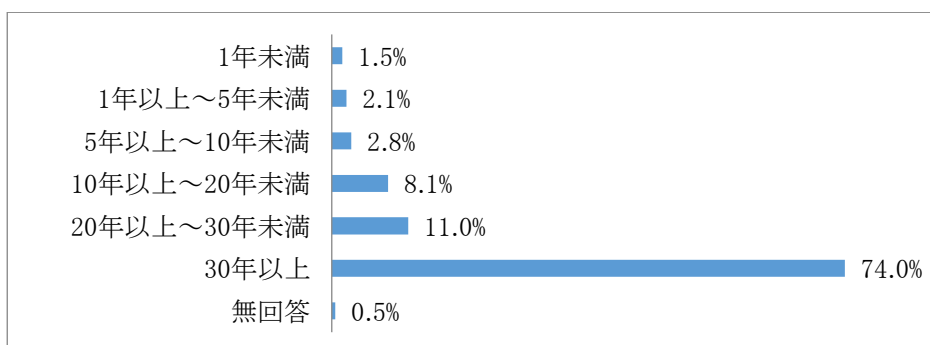
問3 あなたの年齢はおいくつですか。

	回答数	構成比
18・19歳	12	1.2%
20～29歳	47	4.7%
30～39歳	80	8.0%
40～49歳	118	11.9%
50～59歳	153	15.4%
60～69歳	198	19.9%
70～79歳	255	25.6%
80歳以上	126	12.7%
無回答	7	0.6%
計	996	100.0%



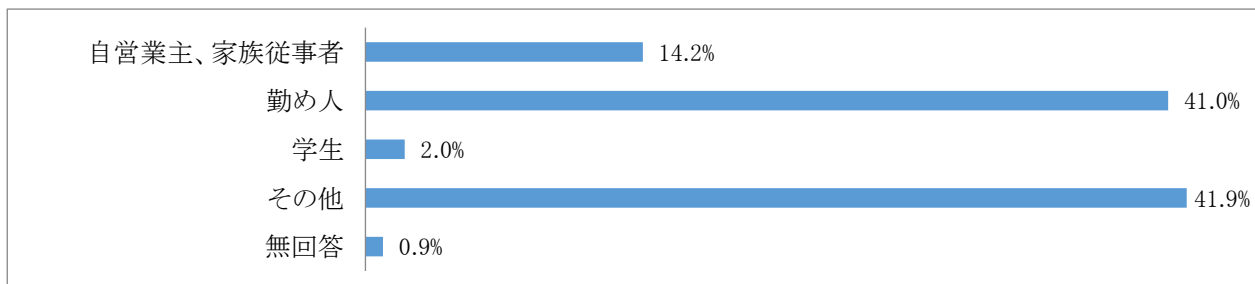
問4 あなたは桐生市に住んでどのくらいになりますか。

	回答数	構成比
1年未満	15	1.5%
1年以上～5年未満	21	2.1%
5年以上～10年未満	28	2.8%
10年以上～20年未満	81	8.1%
20年以上～30年未満	110	11.0%
30年以上	736	74.0%
無回答	5	0.5%
計	996	100.0%



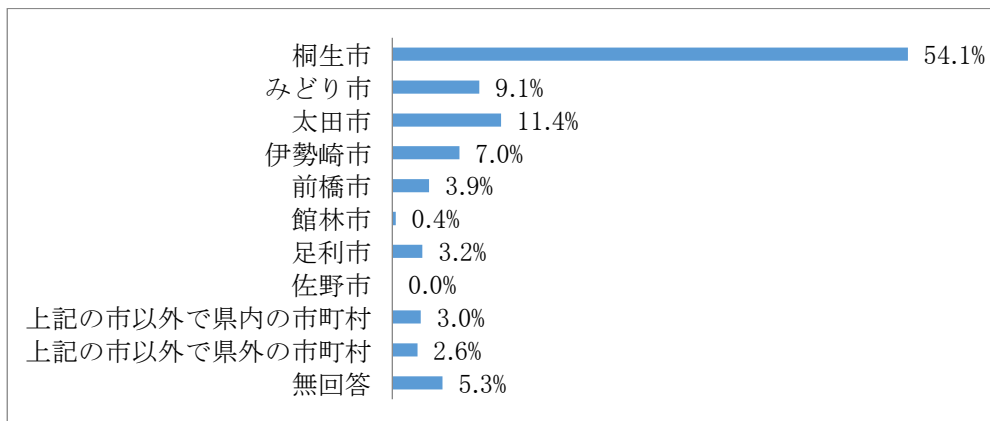
問5 あなたの職業に○をつけてください。兼業の方は、本業と思われるほうに○をつけてください。

	回答数	構成比
自営業主、家族従事者（農・林・漁業、会社・工場・商店などの経営、自由業）	141	14.2%
勤め人（会社・工場・商店・官公庁などに勤務、パート・アルバイト含む）	408	41.0%
学生	20	2.0%
その他（家事専業、無職、その他）	418	41.9%
無回答	9	0.9%
計	996	100.0%



問6 職業をお持ちの方や学生の方にお聞きします。あなたの勤務先（事業所・工場・商店などの所在地）や通学先はどちらですか。

	回答数	構成比
桐生市	308	54.1%
みどり市	52	9.1%
太田市	65	11.4%
伊勢崎市	40	7.0%
前橋市	22	3.9%
館林市	2	0.4%
足利市	18	3.2%
佐野市	0	0.0%
上記の市以外で県内の市町村	17	3.0%
上記の市以外で県外の市町村	15	2.6%
無回答	30	5.3%
計	569	100.0%



問7 あなたの暮らしやお住まいの地区、桐生市についてお聞きします。次の項目について、あなたの実感に最も近いものに○をつけてください。

本問は、桐生市におけるまちづくりの指針となる桐生市第六次総合計画（計画期間：2020年度～2027年度）において、行政分野に関する市民の実感度を計画推進に当たっての指標の一つとするため、前期基本計画（計画期間：2020年度～2023年度）を構成する全41の分野別施策の目標指標として「市民実感度」を設定し、その把握を行おうとするものである。

各質問に対して「大いに感じる」と「やや感じる」と回答した割合を合わせた「感じる」と回答した割合を「市民実感度」と捉え、令和元年度実施調査の結果（数値）を基準値として設定し、今後、各種施策を推進することにより、各市民実感度の向上を目指す。

今回の結果においては、前回調査結果と同様、商工業に関する「中心市街地、商店街はにぎわっている（2.3%）」や「企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる（6.4%）」をはじめ、「働きやすい環境が整っている（6.2%）」、また、「農林業は元気で活力がある（6.5%）」といった各産業や雇用の分野に関して、いずれも10%を下回る低い実感度となった。これらの産業経済の分野は、まちの活力を維持・向上するためには不可欠な要素となっているので、より一層その振興を図っていく必要がある。

また、「障がいのある人にとって暮らしやすいまちである（11.1%）」や「経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている（11.1%）」といった社会的に弱い立場の人の生活環境に対する実感度についても、前回調査結果よりやや増加したものの、低い結果となった。このことから、これらの環境整備を図り、福祉の向上に努める必要がある。

一方で、「いつでも安心して水道が使える（87.6%）」や、「下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる（80.9%）」、「自然環境は良い（79.4%）」については、前回調査結果と同様、約8割から9割の実感度を得られた。上下水道の環境整備と自然環境は桐生市の強みであるので、今後も引き続き施策を推進し、磨きをかけていく必要がある。

なお、前回調査結果より増加が大きかった項目としては、「お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している（52.0%）」が前回（43.0%）より9.0ポイント増加し、また、「お住いの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる（68.9%）」が前回（59.8%）より9.1ポイント増加した。

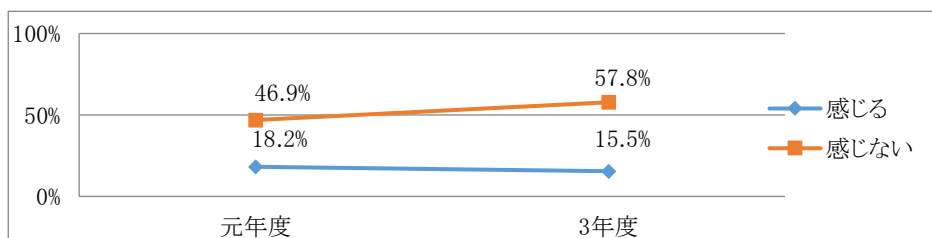
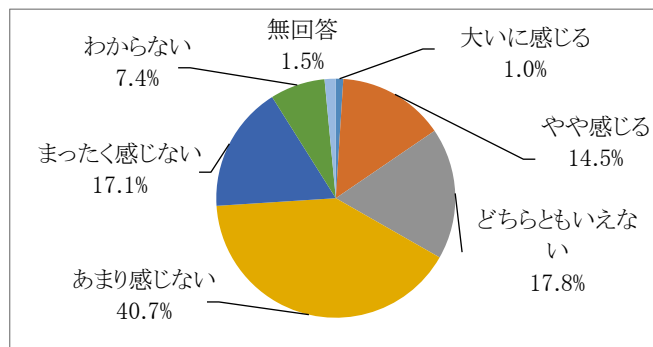
前回調査結果より減少が大きかった項目としては、「お住まいの地区では子どもが健全に育っている（42.9%）」が前回（52.5%）より9.6ポイント減少し、「お住いの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている（33.5%）」が前回（41.3%）より7.8ポイント減少した。

1. 産業経済の振興（産業、観光）

1. 桐生市のものでづくり産業は元気で活力がある

「大いに感じる」(1.0%)と「やや感じる」(14.5%)の合計は15.5%と市民実感度が前回調査時の18.2%から2.7ポイント減少しており、「まったく感じない」(17.1%)と「あまり感じない」(40.7%)の合計57.8%を42.3ポイント下回っている。

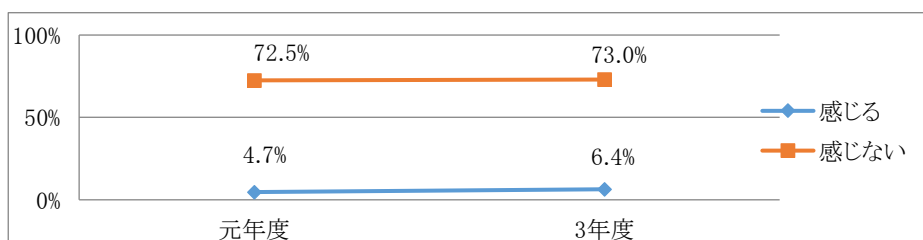
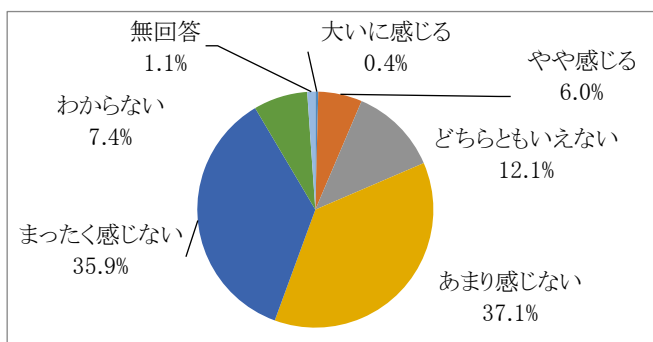
	回答数	構成比
大いに感じる	10	1.0%
やや感じる	144	14.5%
どちらともいえない	177	17.8%
あまり感じない	406	40.7%
まったく感じない	170	17.1%
わからない	74	7.4%
無回答	15	1.5%
計	996	100.0%



2. 桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる

「大いに感じる」(0.4%)と「やや感じる」(6.0%)の合計は6.4%と市民実感度が前回調査時の4.7%から1.7ポイント増加しているが、「まったく感じない」(35.9%)と「あまり感じない」(37.1%)の合計73.0%を66.6ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	4	0.4%
やや感じる	60	6.0%
どちらともいえない	121	12.1%
あまり感じない	368	37.1%
まったく感じない	358	35.9%
わからない	74	7.4%
無回答	11	1.1%
計	996	100.0%

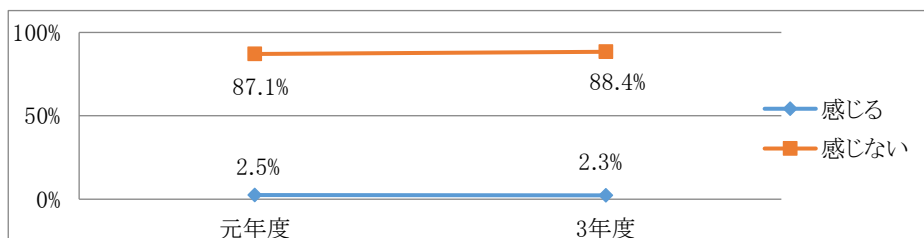
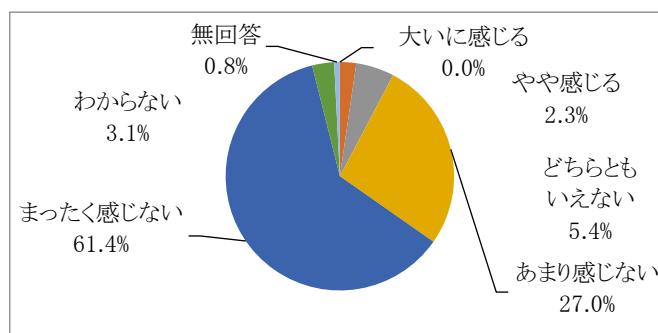


※「感じる」は、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせたもの、「感じない」は、「まったく感じない」と「あまり感じない」を合わせたものとして集計

3. 桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている

「大いに感じる」(0.0%)と「やや感じる」(2.3%)の合計は2.3%と市民実感度が前回調査時の2.5%から0.2ポイント減少しており、「まったく感じない」(61.4%)と「あまり感じない」(27.0%)の合計88.4%を86.1ポイント下回っている。

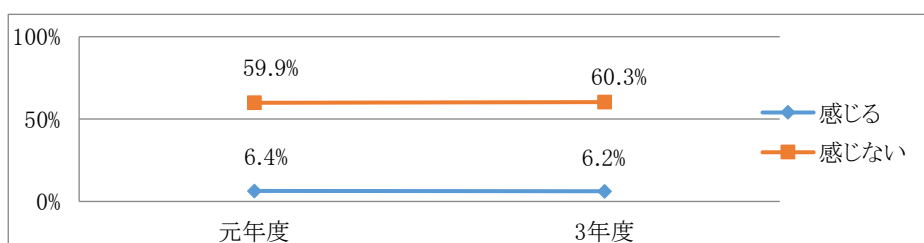
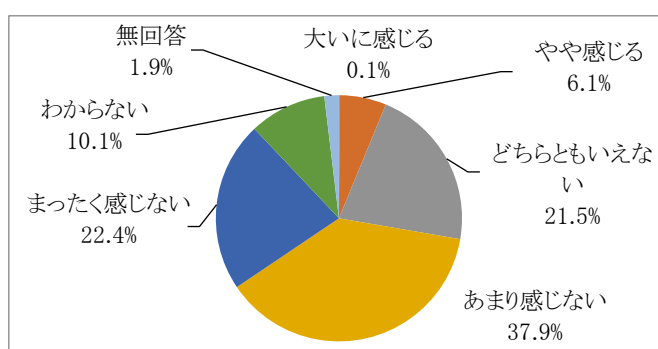
	回答数	構成比
大いに感じる	0	0.0%
やや感じる	23	2.3%
どちらともいえない	54	5.4%
あまり感じない	269	27.0%
まったく感じない	611	61.4%
わからない	31	3.1%
無回答	8	0.8%
計	996	100.0%



4. 桐生市は働きやすい環境が整っている

「大いに感じる」(0.1%)と「やや感じる」(6.1%)の合計は6.2%と市民実感度が前回調査時の6.4%から0.2ポイント減少しており、「まったく感じない」(22.4%)と「あまり感じない」(37.9%)の合計60.3%を54.1ポイント下回っている。

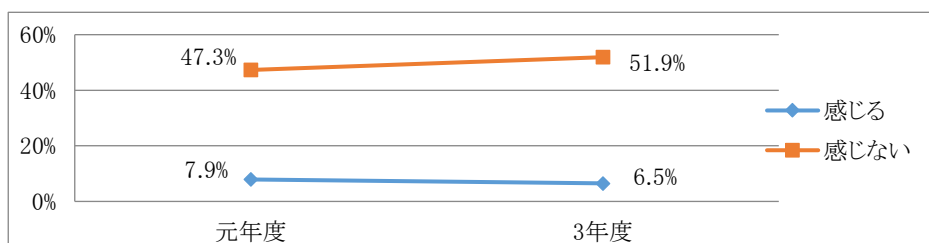
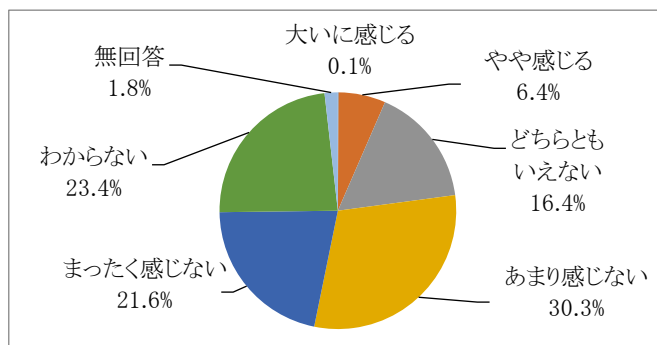
	回答数	構成比
大いに感じる	1	0.1%
やや感じる	61	6.1%
どちらともいえない	214	21.5%
あまり感じない	377	37.9%
まったく感じない	223	22.4%
わからない	101	10.1%
無回答	19	1.9%
計	996	100.0%



5. 桐生市の農林業は元気で活力がある

「大いに感じる」(0.1%)と「やや感じる」(6.4%)の合計は6.5%と市民実感度が前回調査時の7.9%から1.4ポイント減少しており、「まったく感じない」(21.6%)と「あまり感じない」(30.3%)の合計51.9%を45.4ポイント下回っている。

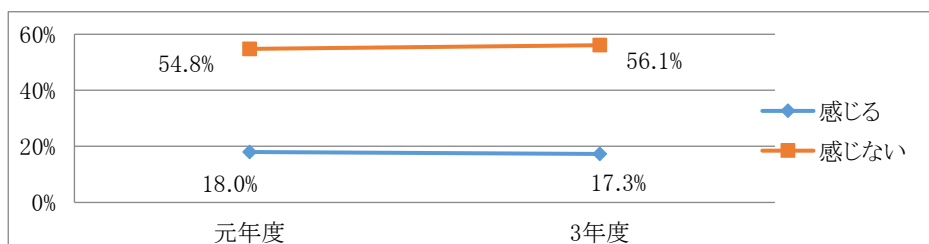
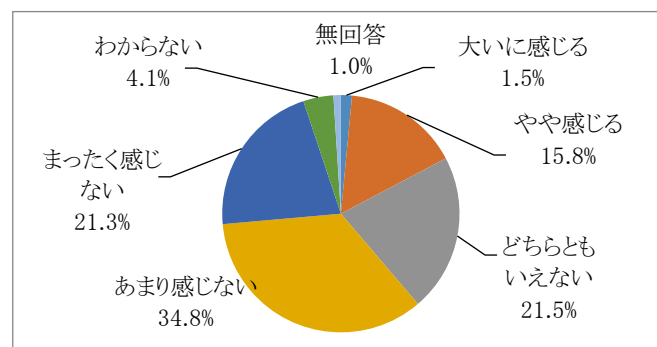
	回答数	構成比
大いに感じる	1	0.1%
やや感じる	64	6.4%
どちらともいえない	163	16.4%
あまり感じない	302	30.3%
まったく感じない	215	21.6%
わからない	233	23.4%
無回答	18	1.8%
計	996	100.0%



6. 桐生市は観光地として市外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちである

「大いに感じる」(1.5%)と「やや感じる」(15.8%)の合計は17.3%と市民実感度が前回調査時の18.0%から0.7ポイント減少しており、「まったく感じない」(21.3%)と「あまり感じない」(34.8%)の合計56.1%を38.8ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	15	1.5%
やや感じる	157	15.8%
どちらともいえない	214	21.5%
あまり感じない	347	34.8%
まったく感じない	212	21.3%
わからない	41	4.1%
無回答	10	1.0%
計	996	100.0%

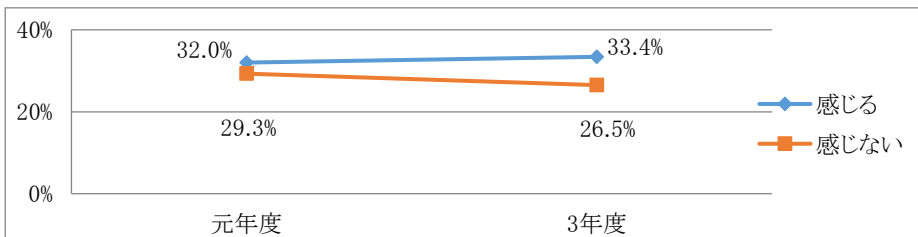
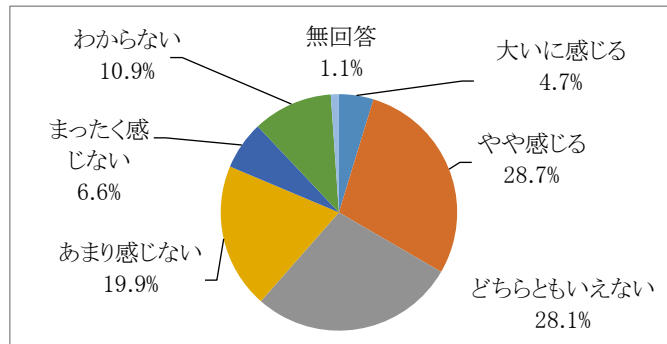


2. 福祉・健康の増進（福祉、健康、医療）

1. 桐生市は安心して子どもを産み、育てることができるまちである

「大いに感じる」(4.7%)と「やや感じる」(28.7%)の合計は33.4%と市民実感度が前回調査時の32.0%から1.4ポイント増加しており、「まったく感じない」(6.6%)と「あまり感じない」(19.9%)の合計26.5%を6.9ポイント上回っている。

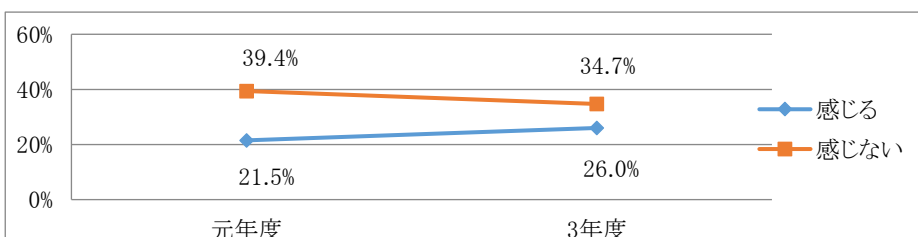
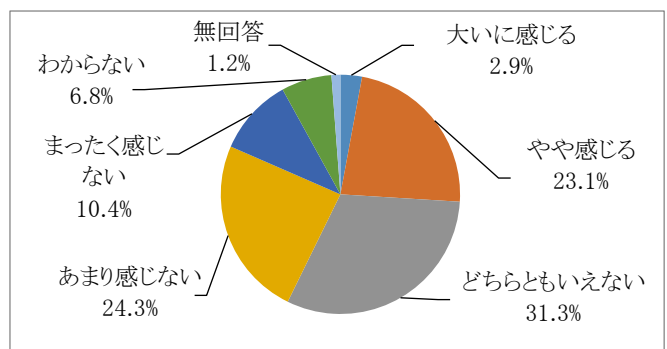
	回答数	構成比
大いに感じる	47	4.7%
やや感じる	285	28.7%
どちらともいえない	280	28.1%
あまり感じない	198	19.9%
まったく感じない	66	6.6%
わからない	109	10.9%
無回答	11	1.1%
計	996	100.0%



2. 桐生市は高齢者にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(2.9%)と「やや感じる」(23.1%)の合計は26.0%と市民実感度が前回調査時の21.5%から4.5ポイント増加しているが、「まったく感じない」(10.4%)と「あまり感じない」(24.3%)の合計34.7%を8.7ポイント下回っている。

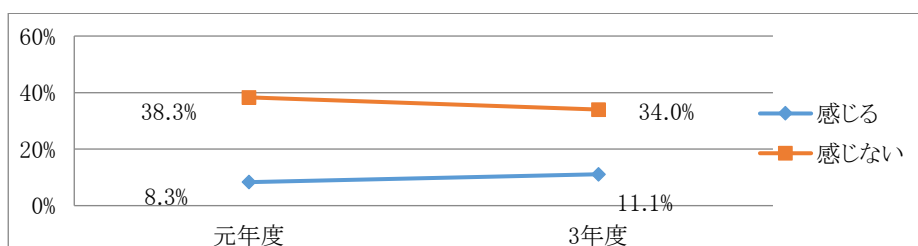
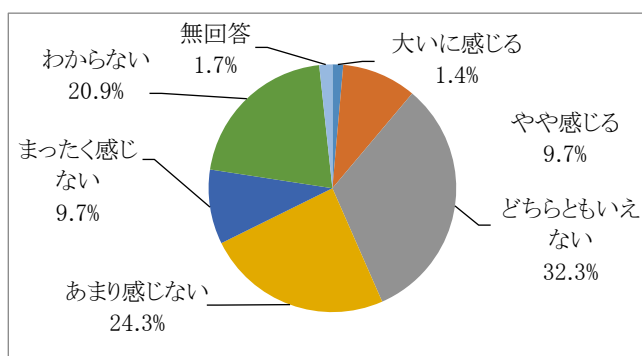
	回答数	構成比
大いに感じる	29	2.9%
やや感じる	230	23.1%
どちらともいえない	311	31.3%
あまり感じない	242	24.3%
まったく感じない	104	10.4%
わからない	68	6.8%
無回答	12	1.2%
計	996	100.0%



3. 桐生市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(1.4%)と「やや感じる」(9.7%)の合計は11.1%と市民実感度が前回調査時の8.3%から2.8ポイント増加しているが、「まったく感じない」(9.7%)と「あまり感じない」(24.3%)の合計34.0%を22.9ポイント下回っている。

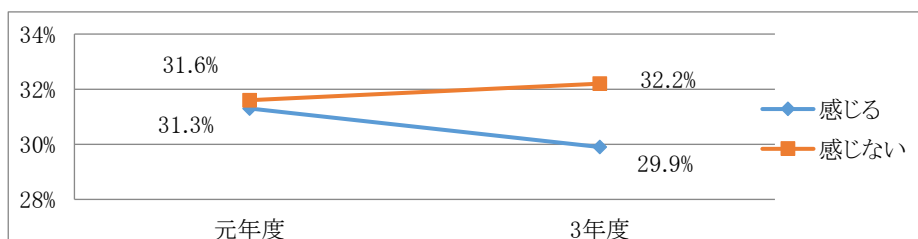
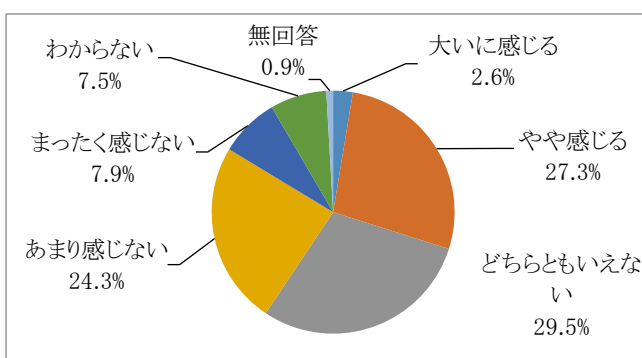
	回答数	構成比
大いに感じる	14	1.4%
やや感じる	97	9.7%
どちらともいえない	321	32.3%
あまり感じない	242	24.3%
まったく感じない	97	9.7%
わからない	208	20.9%
無回答	17	1.7%
計	996	100.0%



4. お住まいの地区には困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりしやすい雰囲気がある

「大いに感じる」(2.6%)と「やや感じる」(27.3%)の合計は29.9%と市民実感度が前回調査時の31.3%から1.4ポイント減少しており、「まったく感じない」(7.9%)と「あまり感じない」(24.3%)の合計32.2%を2.3ポイント下回っている。

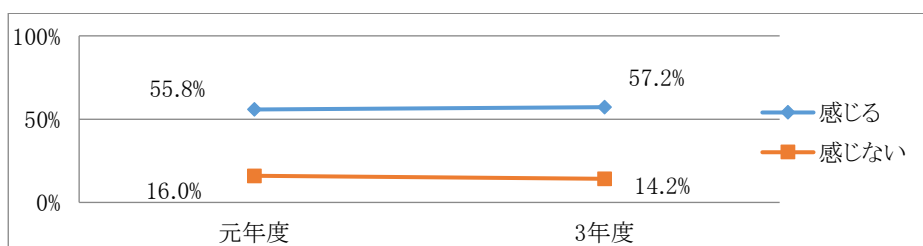
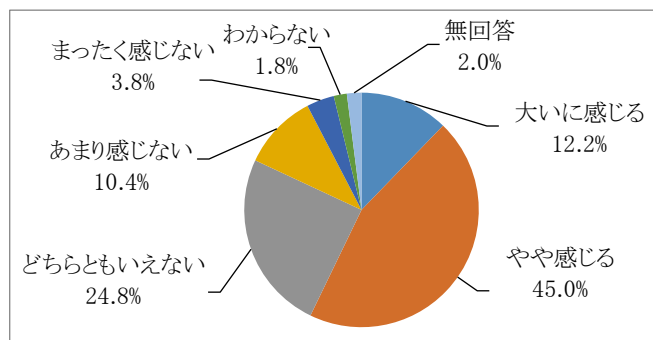
	回答数	構成比
大いに感じる	26	2.6%
やや感じる	272	27.3%
どちらともいえない	293	29.5%
あまり感じない	242	24.3%
まったく感じない	79	7.9%
わからない	75	7.5%
無回答	9	0.9%
計	996	100.0%



5. 自分は心身ともに健康的な生活を送ることができている

「大いに感じる」(12.2%)と「やや感じる」(45.0%)の合計は57.2%と市民実感度が前回調査時の55.8%から1.4ポイント増加しており、「まったく感じない」(3.8%)と「あまり感じない」(10.4%)の合計14.2%を43.0ポイント上回っている。

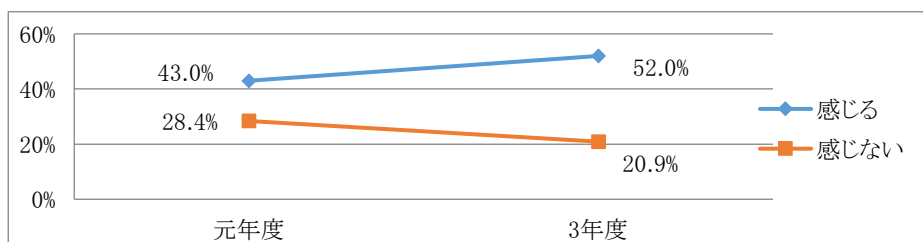
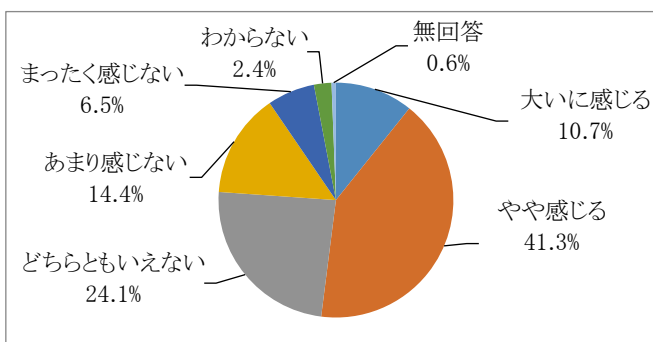
	回答数	構成比
大いに感じる	122	12.2%
やや感じる	448	45.0%
どちらともいえない	246	24.8%
あまり感じない	104	10.4%
まったく感じない	38	3.8%
わからない	18	1.8%
無回答	20	2.0%
計	996	100.0%



6. お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している

「大いに感じる」(10.7%)と「やや感じる」(41.3%)の合計は52.0%と市民実感度が前回調査時の43.0%から9.0ポイント増加しており、「まったく感じない」(6.5%)と「あまり感じない」(14.4%)の合計20.9%を31.1ポイント上回っている

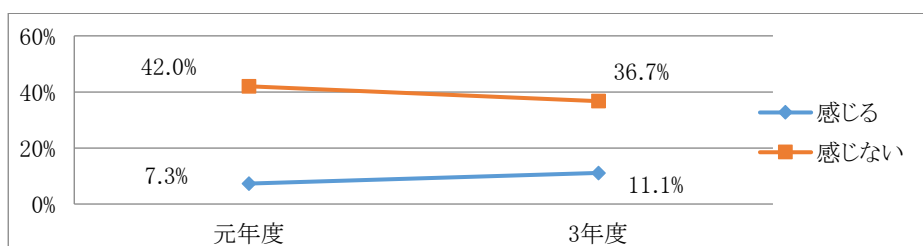
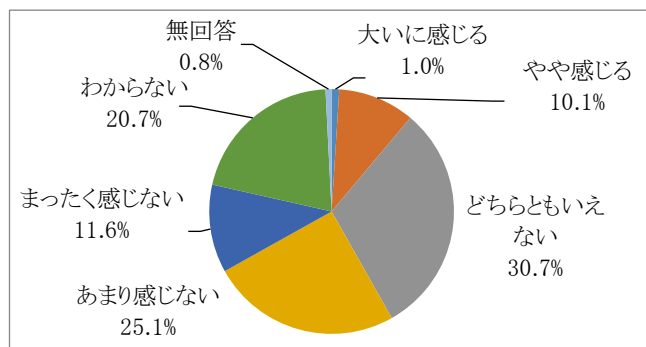
	回答数	構成比
大いに感じる	107	10.7%
やや感じる	411	41.3%
どちらともいえない	240	24.1%
あまり感じない	143	14.4%
まったく感じない	65	6.5%
わからない	24	2.4%
無回答	6	0.6%
計	996	100.0%



7. 桐生市は経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている

「大いに感じる」(1.0%)と「やや感じる」(10.1%)の合計は11.1%と市民実感度が前回調査時の7.3%から3.8ポイント増加しているが、「まったく感じない」(11.6%)と「あまり感じない」(25.1%)の合計36.7%を25.6ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	10	1.0%
やや感じる	101	10.1%
どちらともいえない	305	30.7%
あまり感じない	250	25.1%
まったく感じない	116	11.6%
わからない	206	20.7%
無回答	8	0.8%
計	996	100.0%

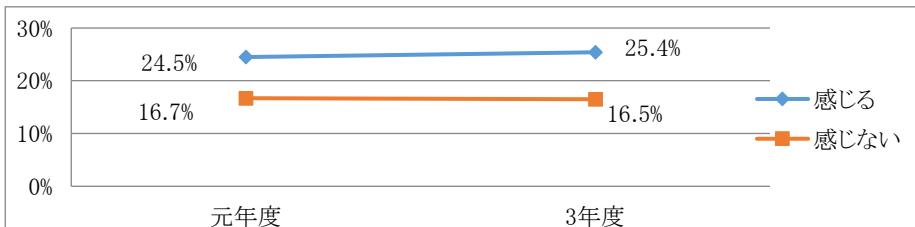
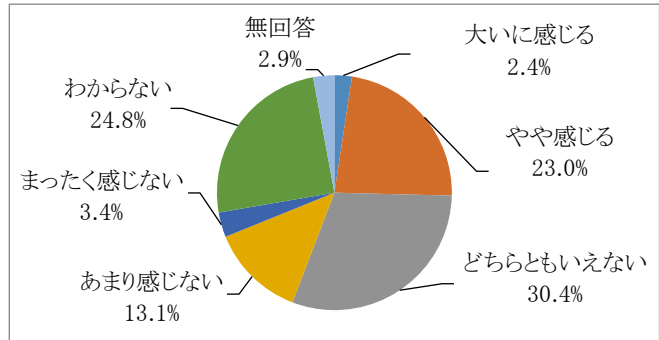


3. 教育・文化の向上（教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ）

1. お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている

「大いに感じる」(2.4%)と「やや感じる」(23.0%)の合計は25.4%と市民実感度が前回調査時の24.5%から0.9ポイント増加しており、「まったく感じない」(3.4%)と「あまり感じない」(13.1%)の合計16.5%を8.9ポイント上回っている。

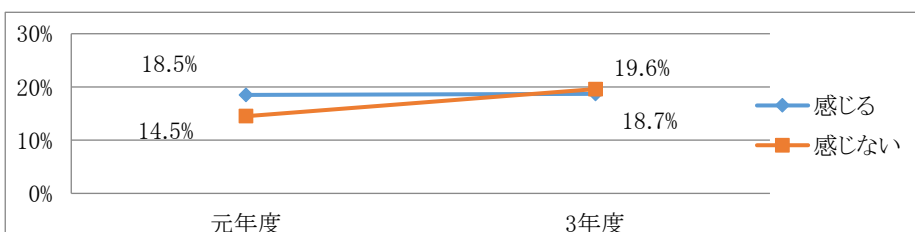
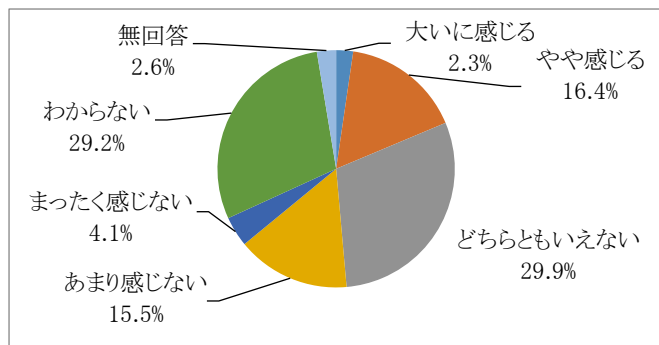
	回答数	構成比
大いに感じる	24	2.4%
やや感じる	229	23.0%
どちらともいえない	303	30.4%
あまり感じない	130	13.1%
まったく感じない	34	3.4%
わからない	247	24.8%
無回答	29	2.9%
計	996	100.0%



2. 桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している

「大いに感じる」(2.3%)と「やや感じる」(16.4%)の合計は18.7%と市民実感度が前回調査時の18.5%から0.2ポイント増加しているが、「まったく感じない」(4.1%)と「あまり感じない」(15.5%)の合計19.6%を0.9ポイント下回っている。

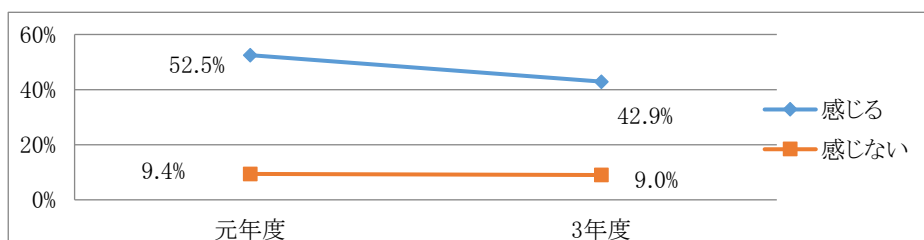
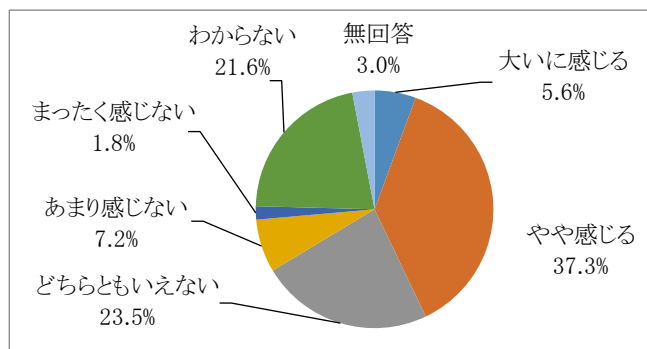
	回答数	構成比
大いに感じる	23	2.3%
やや感じる	163	16.4%
どちらともいえない	298	29.9%
あまり感じない	154	15.5%
まったく感じない	41	4.1%
わからない	291	29.2%
無回答	26	2.6%
計	996	100.0%



3. お住まいの地区では子どもが健全に育っている

「大いに感じる」(5.6%)と「やや感じる」(37.3%)の合計は42.9%と市民実感度が前回調査時の52.5%から9.6ポイント減少しているが、「まったく感じない」(1.8%)と「あまり感じない」(7.2%)の合計9.0%を33.9ポイント上回っている。

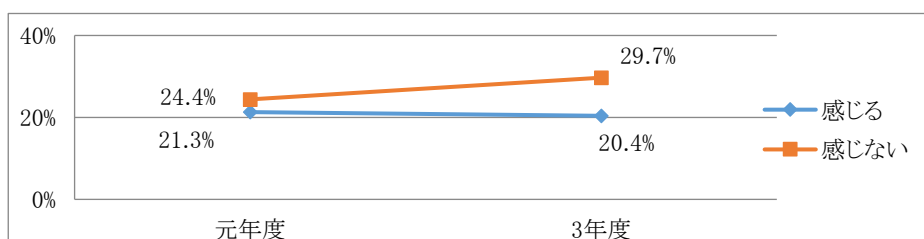
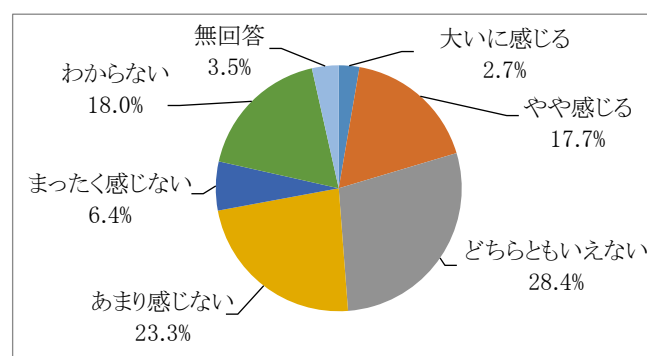
	回答数	構成比
大いに感じる	56	5.6%
やや感じる	371	37.3%
どちらともいえない	234	23.5%
あまり感じない	72	7.2%
まったく感じない	18	1.8%
わからない	215	21.6%
無回答	30	3.0%
計	996	100.0%



4. 桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している

「大いに感じる」(2.7%)と「やや感じる」(17.7%)の合計は20.4%と市民実感度が前回調査時の21.3%から0.9ポイント減少しており、「まったく感じない」(6.4%)と「あまり感じない」(23.3%)の合計29.7%を9.3ポイント下回っている。

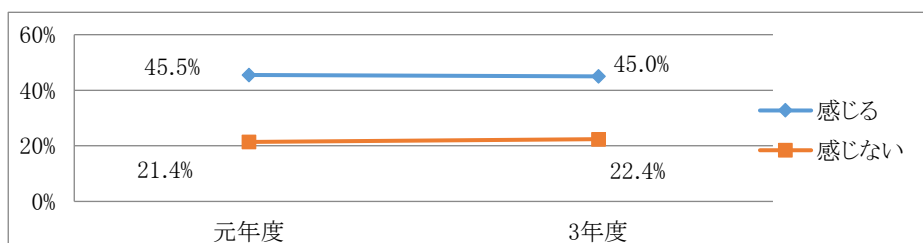
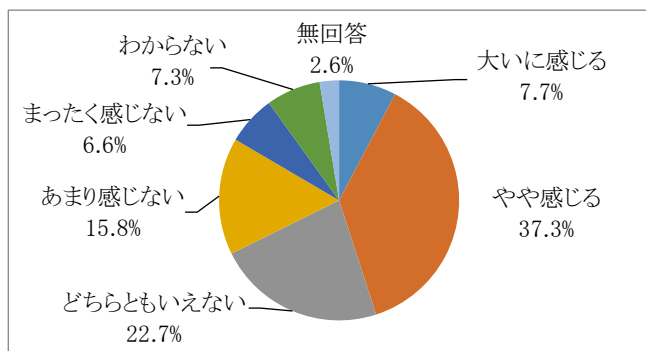
	回答数	構成比
大いに感じる	27	2.7%
やや感じる	176	17.7%
どちらともいえない	283	28.4%
あまり感じない	232	23.3%
まったく感じない	64	6.4%
わからない	179	18.0%
無回答	35	3.5%
計	996	100.0%



5. 自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる

「大いに感じる」(7.7%)と「やや感じる」(37.3%)の合計は45.0%と市民実感度が前回調査時の45.5%から0.5ポイント減少しているが、「まったく感じない」(6.6%)と「あまり感じない」(15.8%)の合計22.4%を22.6ポイント上回っている。

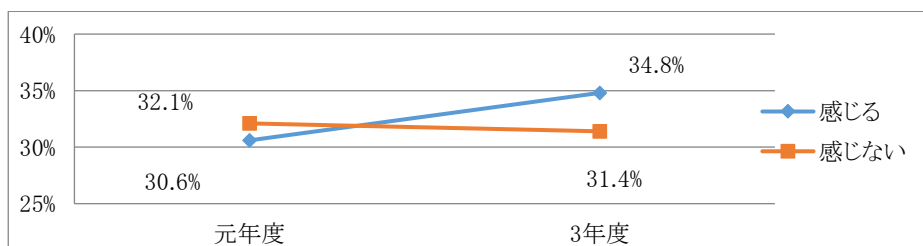
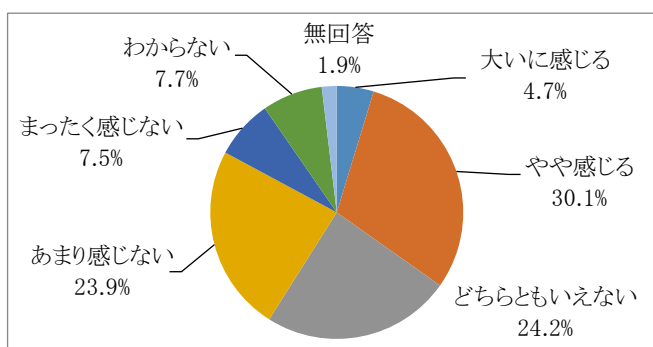
	回答数	構成比
大いに感じる	77	7.7%
やや感じる	371	37.3%
どちらともいえない	226	22.7%
あまり感じない	157	15.8%
まったく感じない	66	6.6%
わからない	73	7.3%
無回答	26	2.6%
計	996	100.0%



6. 桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている

「大いに感じる」(4.7%)と「やや感じる」(30.1%)の合計は34.8%と市民実感度が前回調査時の30.6%から4.2ポイント増加しており、「まったく感じない」(7.5%)と「あまり感じない」(23.9%)の合計31.4%を3.4ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	47	4.7%
やや感じる	299	30.1%
どちらともいえない	241	24.2%
あまり感じない	238	23.9%
まったく感じない	75	7.5%
わからない	77	7.7%
無回答	19	1.9%
計	996	100.0%

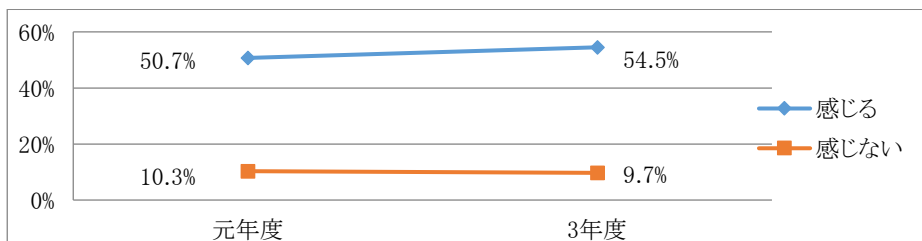
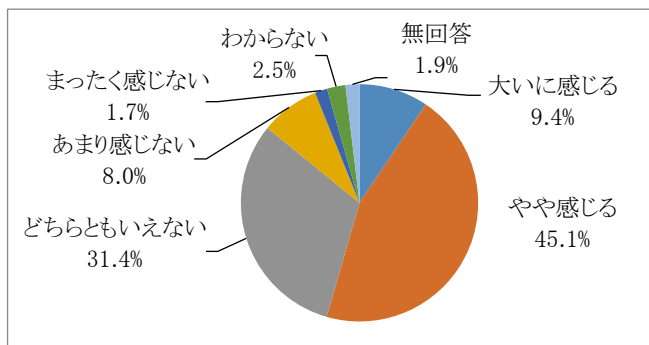


4. 生活環境の向上（環境、安全・安心）

1. 自分は節電や環境に配慮した製品の購入など日頃から地球環境に配慮した生活をしている

「大いに感じる」(9.4%)と「やや感じる」(45.1%)の合計は54.5%と市民実感度が前回調査時の50.7%から3.8ポイント増加しており、「まったく感じない」(1.7%)と「あまり感じない」(8.0%)の合計9.7%を44.8ポイント上回っている。

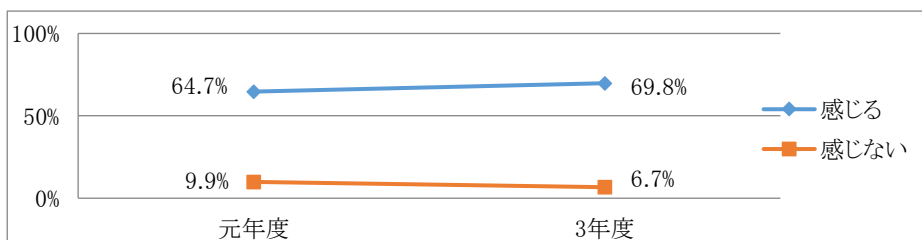
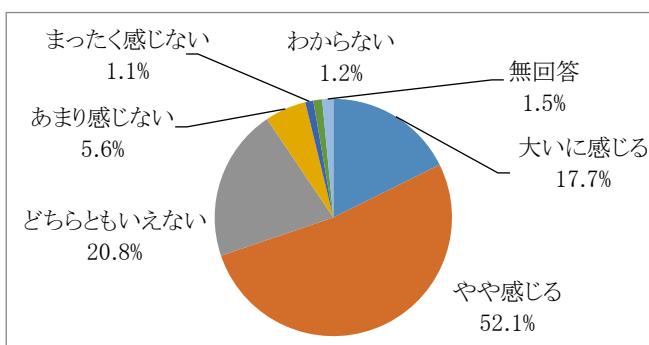
	回答数	構成比
大いに感じる	94	9.4%
やや感じる	448	45.1%
どちらともいえない	313	31.4%
あまり感じない	80	8.0%
まったく感じない	17	1.7%
わからない	25	2.5%
無回答	19	1.9%
計	996	100.0%



2. 自分は日頃から、ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活をしている

「大いに感じる」(17.7%)と「やや感じる」(52.1%)の合計は69.8%と市民実感度が前回調査時の64.7%から5.1ポイント増加しており、「まったく感じない」(1.1%)と「あまり感じない」(5.6%)の合計6.7%を63.1ポイント上回っている。

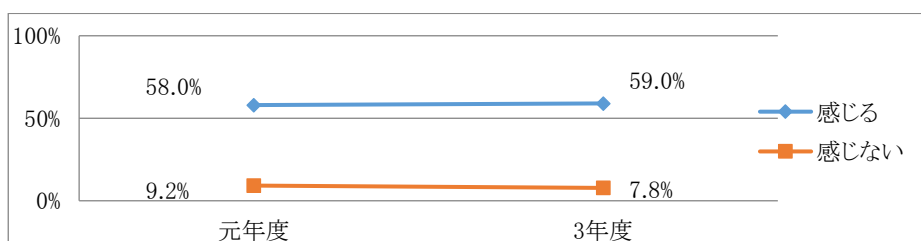
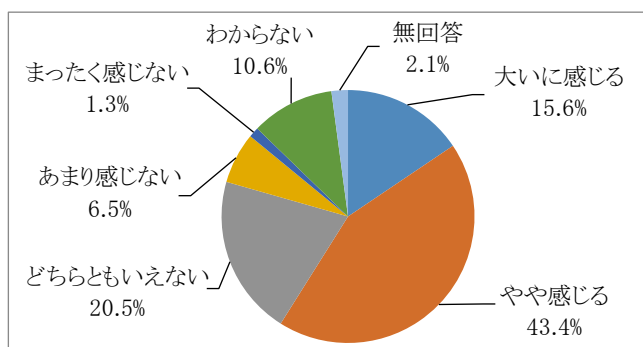
	回答数	構成比
大いに感じる	176	17.7%
やや感じる	519	52.1%
どちらともいえない	207	20.8%
あまり感じない	56	5.6%
まったく感じない	11	1.1%
わからない	12	1.2%
無回答	15	1.5%
計	996	100.0%



3. 桐生市は消防や救急の体制が十分に整っている

「大いに感じる」(15.6%)と「やや感じる」(43.4%)の合計は59.0%と市民実感度が前回調査時の58.0%から1.0ポイント増加しており、「まったく感じない」(1.3%)と「あまり感じない」(6.5%)の合計7.8%を51.2ポイント上回っている。

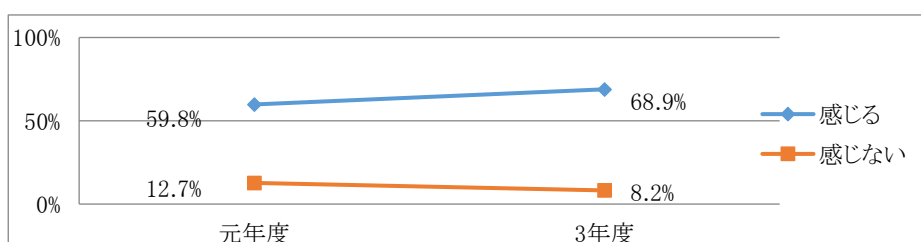
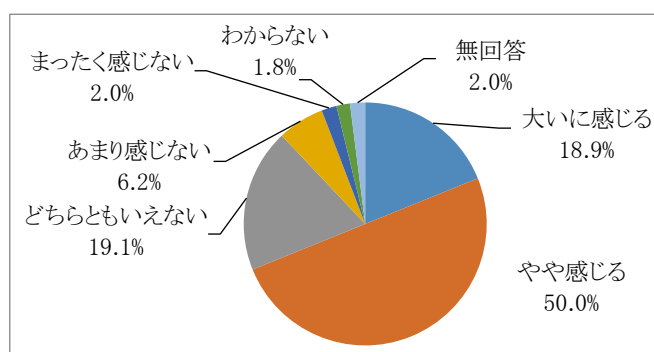
	回答数	構成比
大いに感じる	155	15.6%
やや感じる	432	43.4%
どちらともいえない	204	20.5%
あまり感じない	65	6.5%
まったく感じない	13	1.3%
わからない	106	10.6%
無回答	21	2.1%
計	996	100.0%



4. お住まいの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる

「大いに感じる」(18.9%)と「やや感じる」(50.0%)の合計は68.9%と市民実感度が前回調査時の59.8%から9.1ポイント増加しており、「まったく感じない」(2.0%)と「あまり感じない」(6.2%)の合計8.2%を60.7ポイント上回っている。

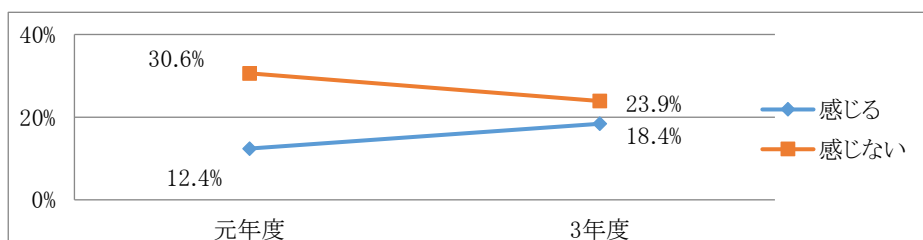
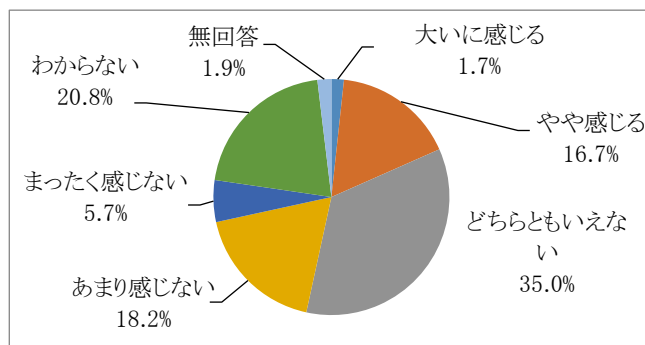
	回答数	構成比
大いに感じる	188	18.9%
やや感じる	498	50.0%
どちらともいえない	190	19.1%
あまり感じない	62	6.2%
まったく感じない	20	2.0%
わからない	18	1.8%
無回答	20	2.0%
計	996	100.0%



5. 桐生市は消費者のための情報提供や相談体制が十分に整っている

「大いに感じる」(1.7%)と「やや感じる」(16.7%)の合計は18.4%と市民実感度が前回調査時の12.4%から6.0ポイント増加しているが、「まったく感じない」(5.7%)と「あまり感じない」(18.2%)の合計23.9%を5.5ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	17	1.7%
やや感じる	166	16.7%
どちらともいえない	349	35.0%
あまり感じない	181	18.2%
まったく感じない	57	5.7%
わからない	207	20.8%
無回答	19	1.9%
計	996	100.0%

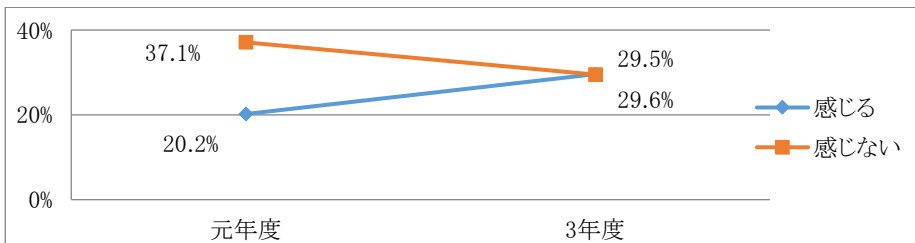
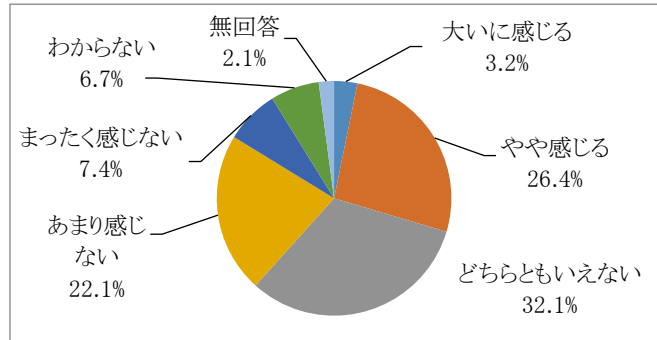


5. 都市基盤の整備（都市基盤）

1. 桐生市は地域の特性を踏まえた、良好な景観のあるまちづくりができています

「大いに感じる」(3.2%)と「やや感じる」(26.4%)の合計は29.6%と市民実感が前回調査時の20.2%から9.4ポイント増加しており、「まったく感じない」(7.4%)と「あまり感じない」(22.1%)の合計29.5%を0.1ポイント上回っている。

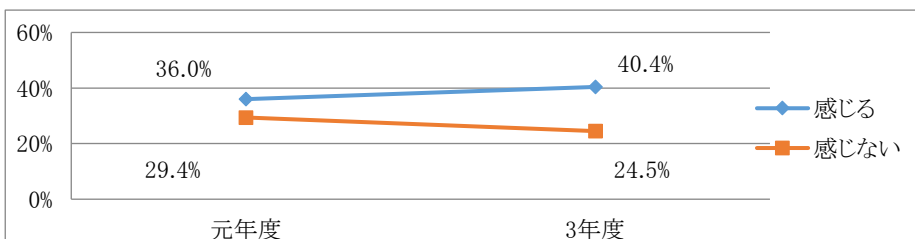
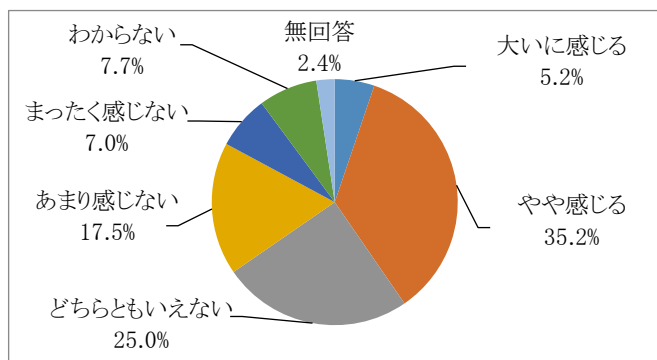
	回答数	構成比
大いに感じる	32	3.2%
やや感じる	263	26.4%
どちらともいえない	319	32.1%
あまり感じない	220	22.1%
まったく感じない	74	7.4%
わからない	67	6.7%
無回答	21	2.1%
計	996	100.0%



2. 桐生市は重伝建地区をはじめとする歴史的まち並みを生かしたまちづくりが進んでいる

「大いに感じる」(5.2%)と「やや感じる」(35.2%)の合計は40.4%と市民実感が前回調査時の36.0%から4.4ポイント増加しており、「まったく感じない」(7.0%)と「あまり感じない」(17.5%)の合計24.5%を15.9ポイント上回っている。

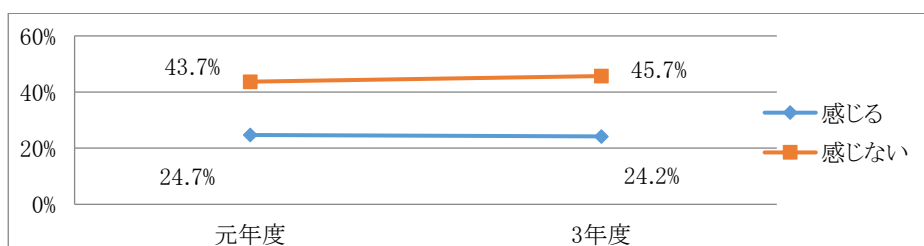
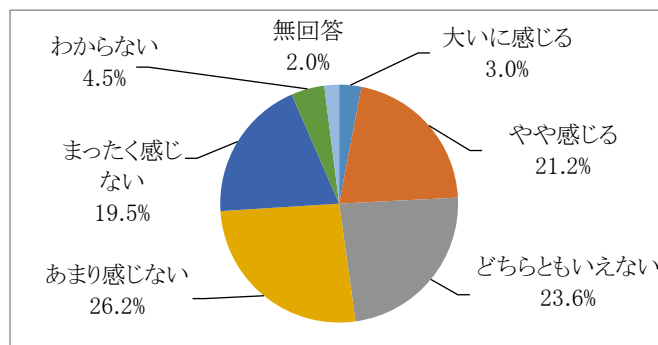
	回答数	構成比
大いに感じる	52	5.2%
やや感じる	350	35.2%
どちらともいえない	249	25.0%
あまり感じない	174	17.5%
まったく感じない	70	7.0%
わからない	77	7.7%
無回答	24	2.4%
計	996	100.0%



3. 桐生市は市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている

「大いに感じる」(3.0%)と「やや感じる」(21.2%)の合計は24.2%と市民実感度が前回調査時の24.7%から0.5ポイント減少しており、「まったく感じない」(19.5%)と「あまり感じない」(26.2%)の合計45.7%を21.5ポイント下回っている。

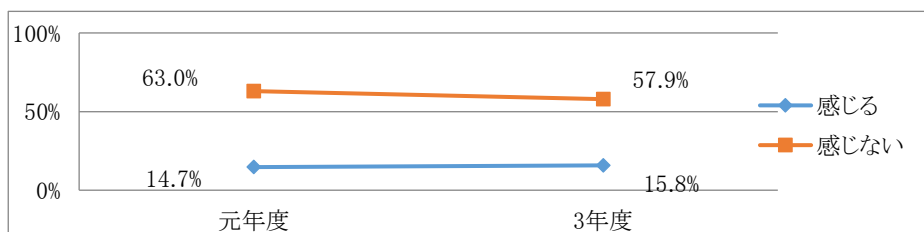
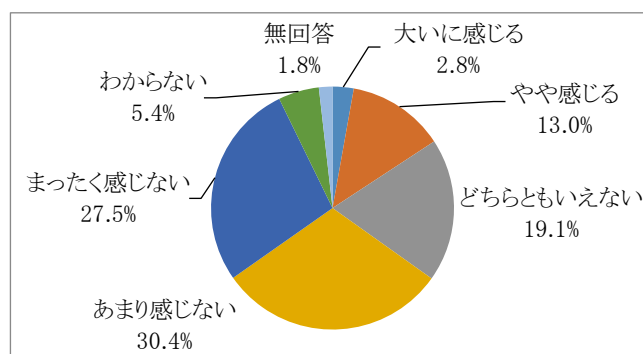
	回答数	構成比
大いに感じる	30	3.0%
やや感じる	211	21.2%
どちらともいえない	235	23.6%
あまり感じない	261	26.2%
まったく感じない	194	19.5%
わからない	45	4.5%
無回答	20	2.0%
計	996	100.0%



4. お住まいの地区の公共交通（鉄道やバス）は利便性が良い

「大いに感じる」(2.8%)と「やや感じる」(13.0%)の合計は15.8%と市民実感度が前回調査時の14.7%から1.1ポイント増加しているが、「まったく感じない」(27.5%)と「あまり感じない」(30.4%)の合計57.9%を42.1ポイント下回っている。

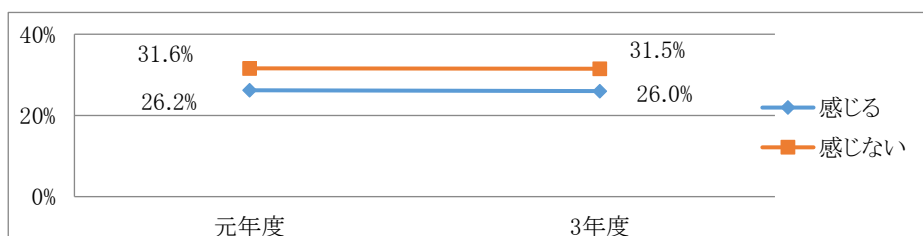
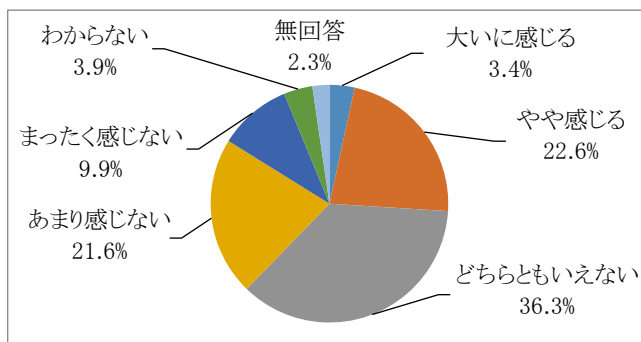
	回答数	構成比
大いに感じる	28	2.8%
やや感じる	129	13.0%
どちらともいえない	190	19.1%
あまり感じない	303	30.4%
まったく感じない	274	27.5%
わからない	54	5.4%
無回答	18	1.8%
計	996	100.0%



5. 桐生市は住み続けたいくなる生活の場としての住環境が整っている

「大いに感じる」(3.4%)と「やや感じる」(22.6%)の合計は26.0%と市民実感度が前回調査時の26.2%から0.2ポイント減少しており、「まったく感じない」(9.9%)と「あまり感じない」(21.6%)の合計31.5%を5.5ポイント下回っている。

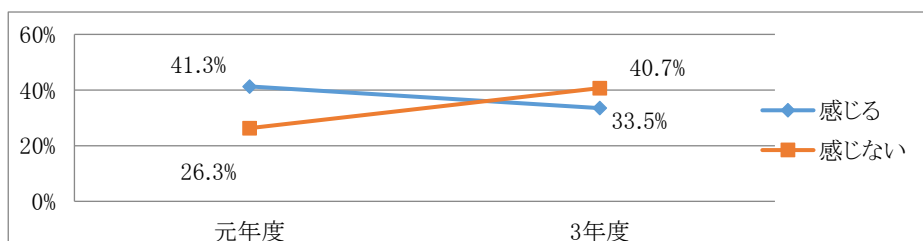
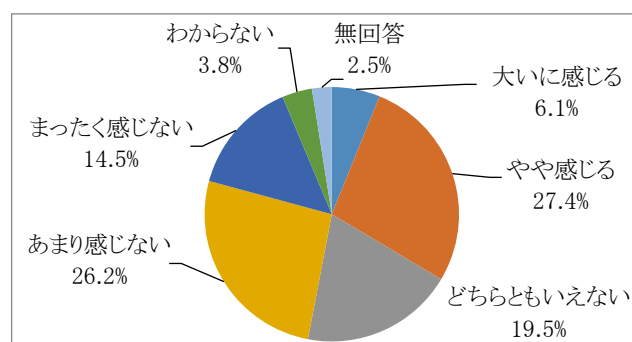
	回答数	構成比
大いに感じる	34	3.4%
やや感じる	225	22.6%
どちらともいえない	361	36.3%
あまり感じない	215	21.6%
まったく感じない	99	9.9%
わからない	39	3.9%
無回答	23	2.3%
計	996	100.0%



6. お住まいの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている

「大いに感じる」(6.1%)と「やや感じる」(27.4%)の合計は33.5%と市民実感度が前回調査時の41.3%から7.8ポイント減少しており、「まったく感じない」(14.5%)と「あまり感じない」(26.2%)の合計40.7%を7.2ポイント下回っている。

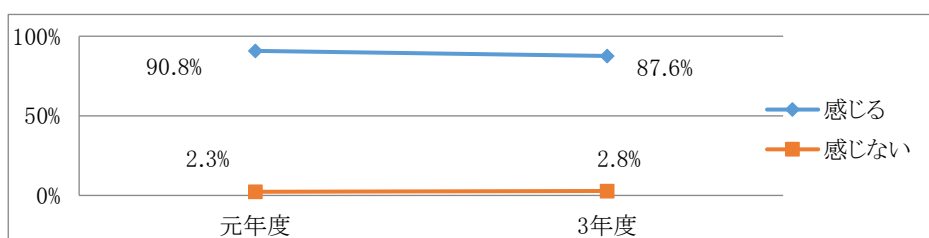
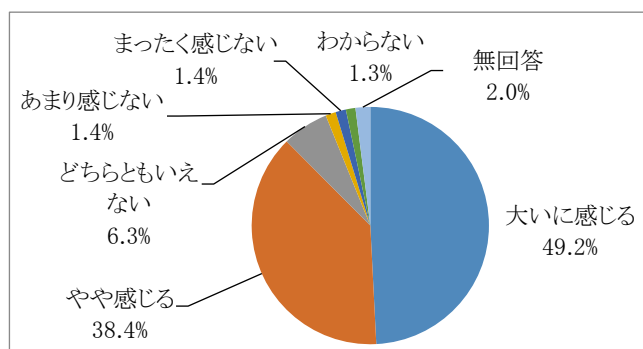
	回答数	構成比
大いに感じる	61	6.1%
やや感じる	273	27.4%
どちらともいえない	194	19.5%
あまり感じない	261	26.2%
まったく感じない	144	14.5%
わからない	38	3.8%
無回答	25	2.5%
計	996	100.0%



7. お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える

「大いに感じる」(49.2%)と「やや感じる」(38.4%)の合計は87.6%と市民実感度が前回調査時の90.8%から3.2ポイント減少しているが、「まったく感じない」(1.4%)と「あまり感じない」(1.4%)の合計2.8%を84.8ポイント上回っている。

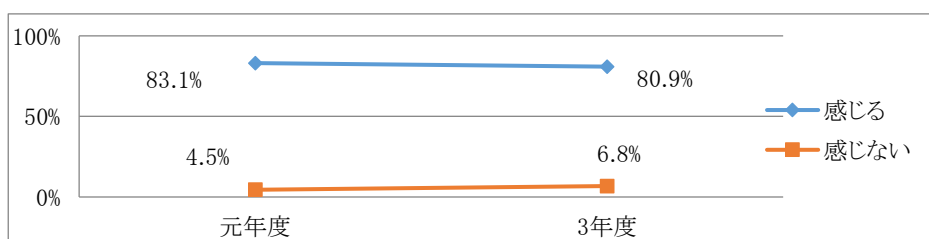
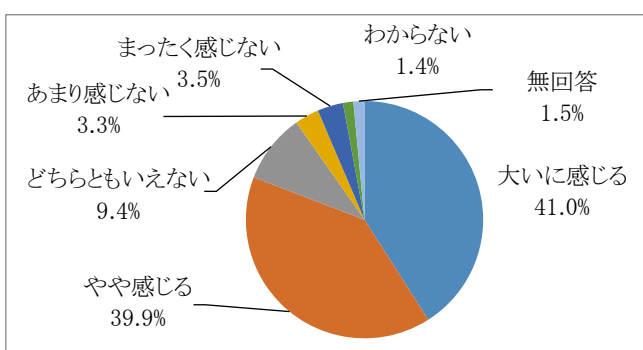
	回答数	構成比
大いに感じる	490	49.2%
やや感じる	382	38.4%
どちらともいえない	63	6.3%
あまり感じない	14	1.4%
まったく感じない	14	1.4%
わからない	13	1.3%
無回答	20	2.0%
計	996	100.0%



8. お住まいの地区は下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる

「大いに感じる」(41.0%)と「やや感じる」(39.9%)の合計は80.9%と市民実感度が前回調査時の83.1%から2.2ポイント減少しているが、「まったく感じない」(3.5%)と「あまり感じない」(3.3%)の合計6.8%を74.1ポイント上回っている。

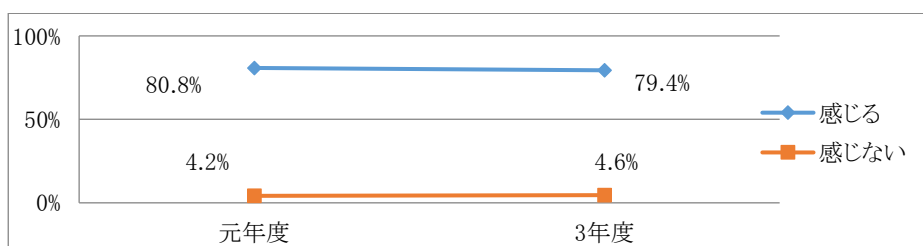
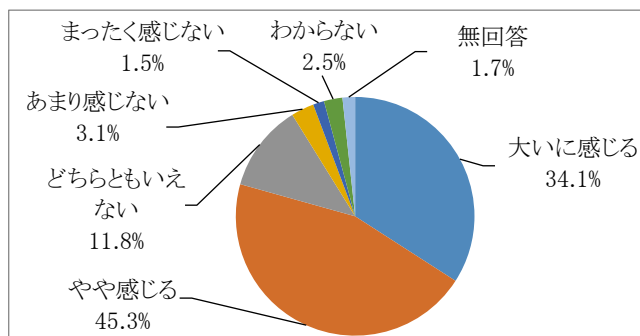
	回答数	構成比
大いに感じる	408	41.0%
やや感じる	397	39.9%
どちらともいえない	94	9.4%
あまり感じない	33	3.3%
まったく感じない	35	3.5%
わからない	14	1.4%
無回答	15	1.5%
計	996	100.0%



9. 桐生市の自然環境は良い

「大いに感じる」(34.1%)と「やや感じる」(45.3%)の合計は79.4%と市民実感度が前回調査時の80.8%から1.4ポイント減少しているが、「まったく感じない」(1.5%)と「あまり感じない」(3.1%)の合計4.6%を74.8ポイント上回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	340	34.1%
やや感じる	450	45.3%
どちらともいえない	118	11.8%
あまり感じない	31	3.1%
まったく感じない	15	1.5%
わからない	25	2.5%
無回答	17	1.7%
計	996	100.0%

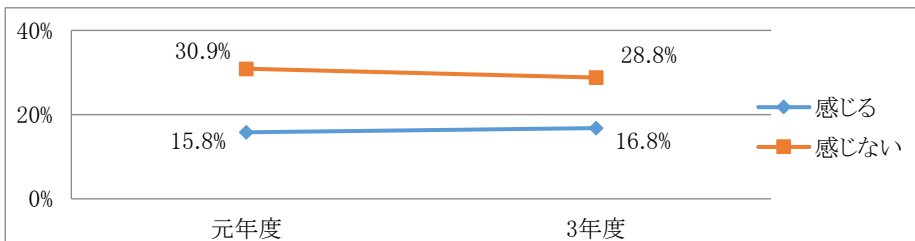
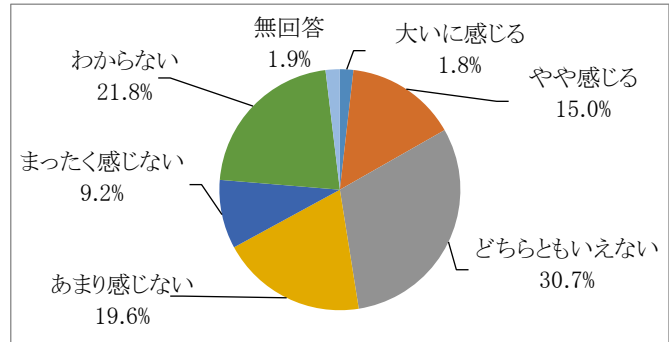


6. 計画推進のために（協働、行政運営）

1. 桐生市では地域の課題解決に市民と行政が協力して取り組んでいる

「大いに感じる」(1.8%)と「やや感じる」(15.0%)の合計は16.8%と市民実感度が前回調査時の15.8%から1.0ポイント増加しているが、「まったく感じない」(9.2%)と「あまり感じない」(19.6%)の合計28.8%を12.0ポイント下回っている。

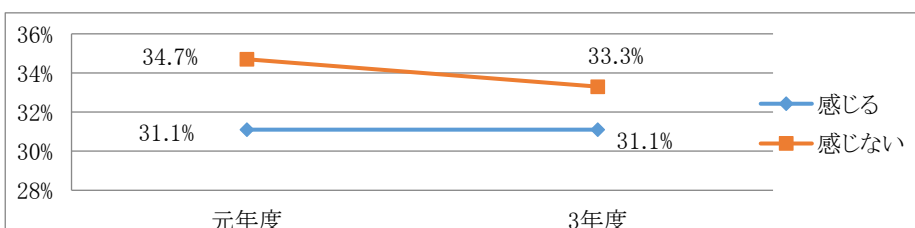
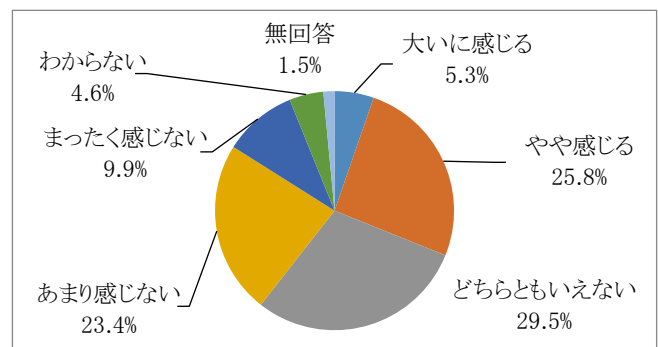
	回答数	構成比
大いに感じる	18	1.8%
やや感じる	149	15.0%
どちらともいえない	306	30.7%
あまり感じない	195	19.6%
まったく感じない	92	9.2%
わからない	217	21.8%
無回答	19	1.9%
計	996	100.0%



2. 自分は桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる

「大いに感じる」(5.3%)と「やや感じる」(25.8%)の合計は31.1%と市民実感度が前回調査時の31.1%と同じ結果となり、「まったく感じない」(9.9%)と「あまり感じない」(23.4%)の合計33.3%を2.2ポイント下回っている。

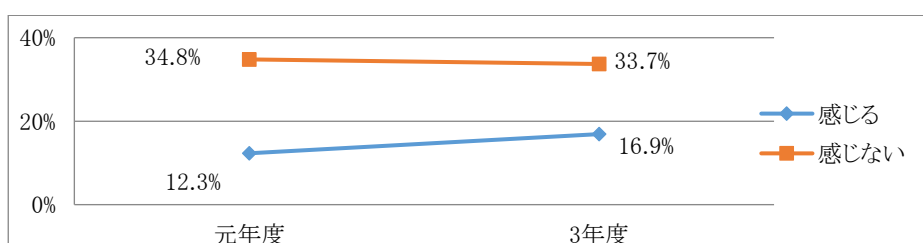
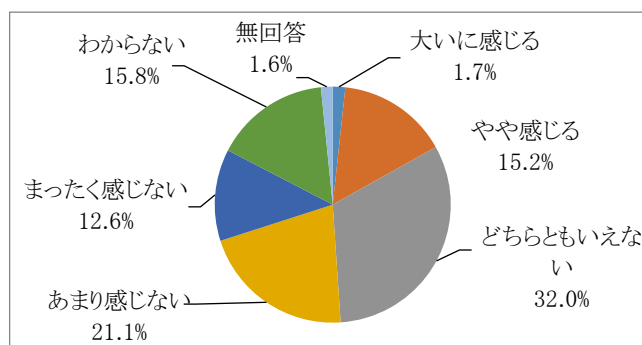
	回答数	構成比
大いに感じる	53	5.3%
やや感じる	257	25.8%
どちらともいえない	293	29.5%
あまり感じない	233	23.4%
まったく感じない	99	9.9%
わからない	46	4.6%
無回答	15	1.5%
計	996	100.0%



3. 桐生市は市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している

「大いに感じる」(1.7%)と「やや感じる」(15.2%)の合計は16.9%と市民実感が前回調査時の12.3%から4.6ポイント増加しているが、「まったく感じない」(12.6%)と「あまり感じない」(21.1%)の合計33.7%を16.8ポイント下回っている。

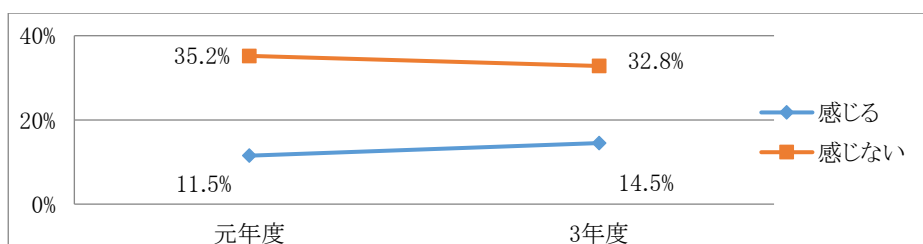
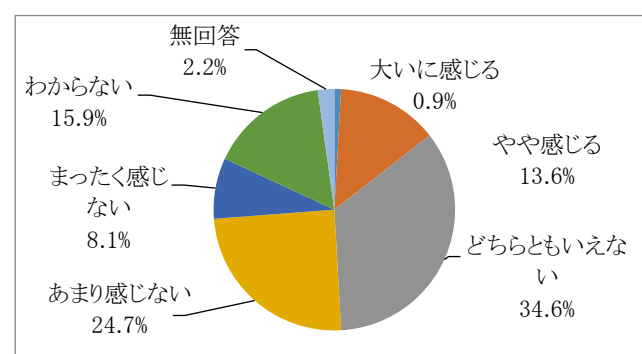
	回答数	構成比
大いに感じる	17	1.7%
やや感じる	151	15.2%
どちらともいえない	320	32.0%
あまり感じない	210	21.1%
まったく感じない	125	12.6%
わからない	157	15.8%
無回答	16	1.6%
計	996	100.0%



4. 桐生市は男女問わず誰もが家庭・職場・地域など、あらゆる場面で活躍できる環境が整っている

「大いに感じる」(0.9%)と「やや感じる」(13.6%)の合計は14.5%と市民実感が前回調査時の11.5%から3.0ポイント増加しているが、「まったく感じない」(8.1%)と「あまり感じない」(24.7%)の合計32.8%を18.3ポイント下回っている。

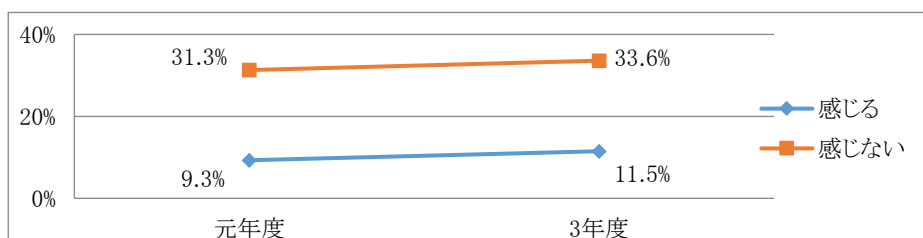
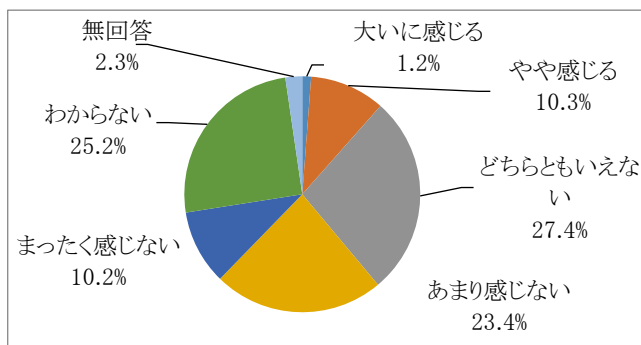
	回答数	構成比
大いに感じる	9	0.9%
やや感じる	135	13.6%
どちらともいえない	345	34.6%
あまり感じない	246	24.7%
まったく感じない	81	8.1%
わからない	158	15.9%
無回答	22	2.2%
計	996	100.0%



5. 桐生市は市民生活の利便性向上のために積極的に他の都市などと連携している

「大いに感じる」(1.2%)と「やや感じる」(10.3%)の合計は11.5%と市民実感が前回調査時の9.3%から2.2ポイント増加しているが、「まったく感じない」(10.2%)と「あまり感じない」(23.4%)の合計33.6%を22.1ポイント下回っている。

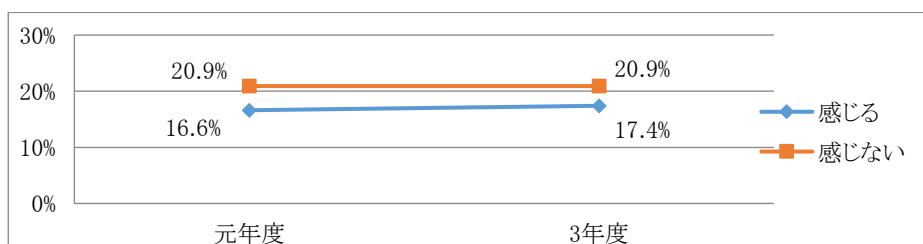
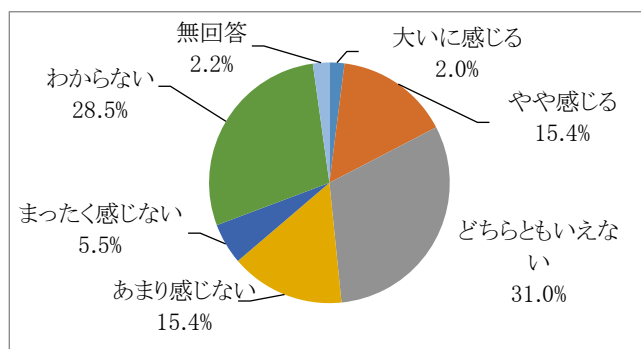
	回答数	構成比
大いに感じる	12	1.2%
やや感じる	103	10.3%
どちらともいえない	272	27.4%
あまり感じない	233	23.4%
まったく感じない	102	10.2%
わからない	251	25.2%
無回答	23	2.3%
計	996	100.0%



6. 桐生市は国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいまちである

「大いに感じる」(2.0%)と「やや感じる」(15.4%)の合計は17.4%と市民実感が前回調査時の16.6%から0.8ポイント増加しているが、「まったく感じない」(5.5%)と「あまり感じない」(15.4%)の合計20.9%を3.5ポイント下回っている。

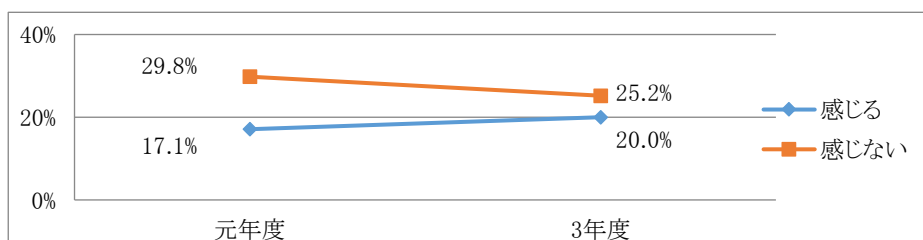
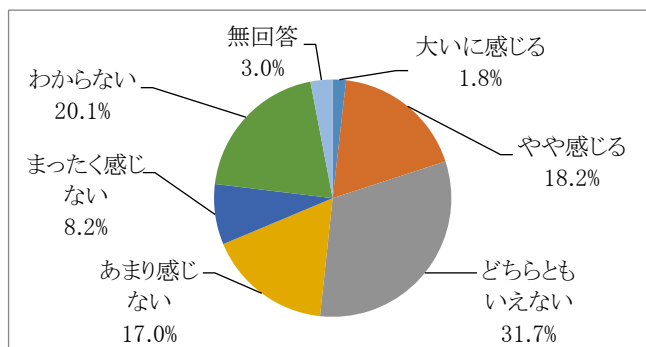
	回答数	構成比
大いに感じる	20	2.0%
やや感じる	153	15.4%
どちらともいえない	309	31.0%
あまり感じない	153	15.4%
まったく感じない	55	5.5%
わからない	284	28.5%
無回答	22	2.2%
計	996	100.0%



7. 桐生市では効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている

「大いに感じる」(1.8%)と「やや感じる」(18.2%)の合計は20.0%と市民実感度が前回調査時の17.1%から2.9ポイント増加しているが、「まったく感じない」(8.2%)と「あまり感じない」(17.0%)の合計25.2%を5.2ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	18	1.8%
やや感じる	181	18.2%
どちらともいえない	316	31.7%
あまり感じない	169	17.0%
まったく感じない	82	8.2%
わからない	200	20.1%
無回答	30	3.0%
計	996	100.0%

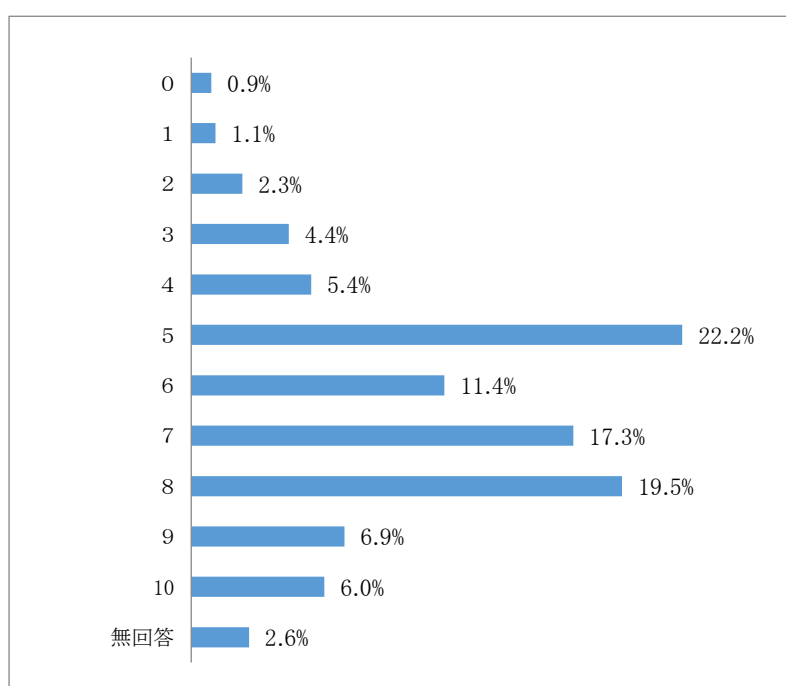


問8 現在、あなたはどの程度「幸せ」ですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0とすると、どのくらいになりますか。

0点から10点までの11段階で現在の幸福実感度をたずねたところ、中間点となる「5点」が22.2%と最も多く、次いで「8点」(19.5%)、「7点」(17.3%)、「6点」(11.4%)と続いている。無回答を除いた全体の平均は6.36点となっており、前回調査結果である6.44点と比べると減少している。

また、中間点(5点)より上の点数である6点以上が61.1%と全体の約6割となっており、一方、中間点(5点)より下の点数である4点以下が14.1%と全体の約1割となっている。

	回答数	構成比
0	9	0.9%
1	11	1.1%
2	23	2.3%
3	44	4.4%
4	54	5.4%
5	220	22.2%
6	114	11.4%
7	172	17.3%
8	194	19.5%
9	69	6.9%
10	60	6.0%
無回答	26	2.6%
計	996	100.0%

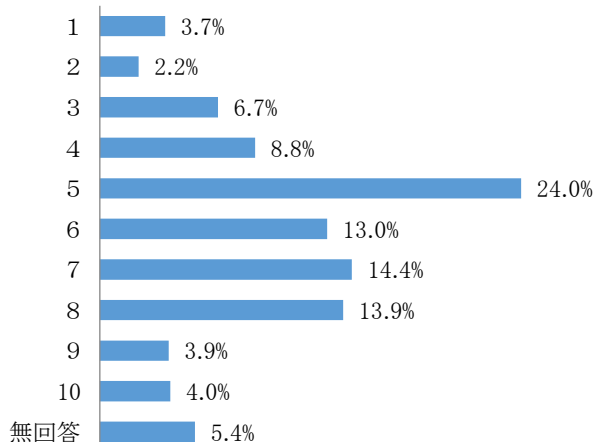


問9 あなたは桐生市に対する考えを聞かれたときに、次の項目についてどのくらい桐生市を薦めますか。

<住む場として>

10段階の評価について、「1～6」を「薦めない」、「7～8」を「どちらでもない」、「9～10」を「積極的に薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「薦めない」が61.8%、「どちらでもない」が29.8%、「積極的に薦める」が8.4%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は5.8ポイントとなった。今後は、「薦めない」の低減とともに、「積極的に薦める」の増加に努めることが重要であると考ええる。

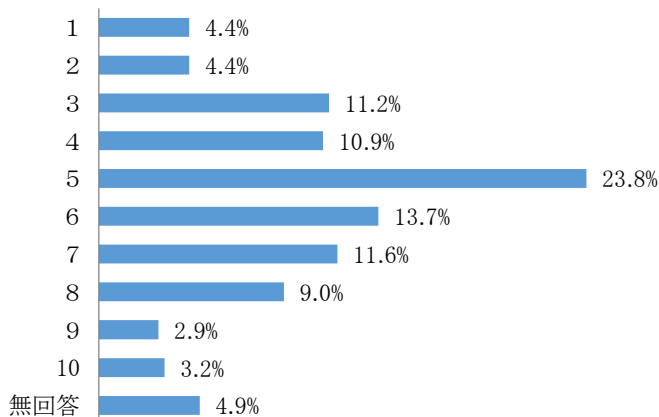
	回答数	構成比
1	37	3.7%
2	22	2.2%
3	67	6.7%
4	88	8.8%
5	239	24.0%
6	129	13.0%
7	143	14.4%
8	138	13.9%
9	39	3.9%
10	40	4.0%
無回答	54	5.4%
計	996	100.0%



<訪れる場として>

10段階の評価について、「1～6」を「薦めない」、「7～8」を「どちらでもない」、「9～10」を「積極的に薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「薦めない」が71.8%、「どちらでもない」が21.8%、「積極的に薦める」が6.4%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は5.3ポイントとなった。今後は、「薦めない」の低減とともに、「積極的に薦める」の増加に努めることが重要であると考ええる。

	回答数	構成比
1	44	4.4%
2	44	4.4%
3	112	11.2%
4	109	10.9%
5	235	23.8%
6	136	13.7%
7	116	11.6%
8	90	9.0%
9	29	2.9%
10	32	3.2%
無回答	49	4.9%
計	996	100.0%



生涯を通じた健康づくりについて

(健康長寿課)

問 10 継続的に運動（散歩やラジオ体操など、意識して体を動かすこと）をしていますか。

「している」が 53.0%と半数を超えている。高齢化や生活習慣の変化により、生活習慣病にかかる割合が高まっており、健康寿命の延伸には運動の継続が必要であるため、今後は更なる推進をしていきたい。

	回答数	構成比
している	528	53.0%
していない	452	45.4%
無回答	16	1.6%
計	996	100.0%



地域医療について

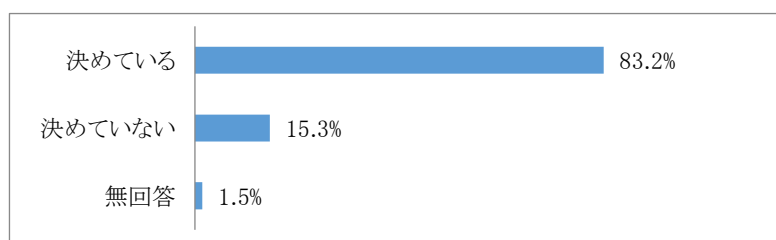
(地域医療感染症対策室)

問 11 かかりつけ医（歯科医を含む）を決めていますか。

「決めている」が 83.2%と、多くの市民がかかりつけ医（歯科医を含む）を決めているという結果となった。

健康寿命の延伸を推進するうえで、普段から自身の体について気軽に相談できる医療機関を決めておくことは重要なことであるため、今後もしかりつけ医（歯科医を含む）を持つことの必要性を啓発していく。

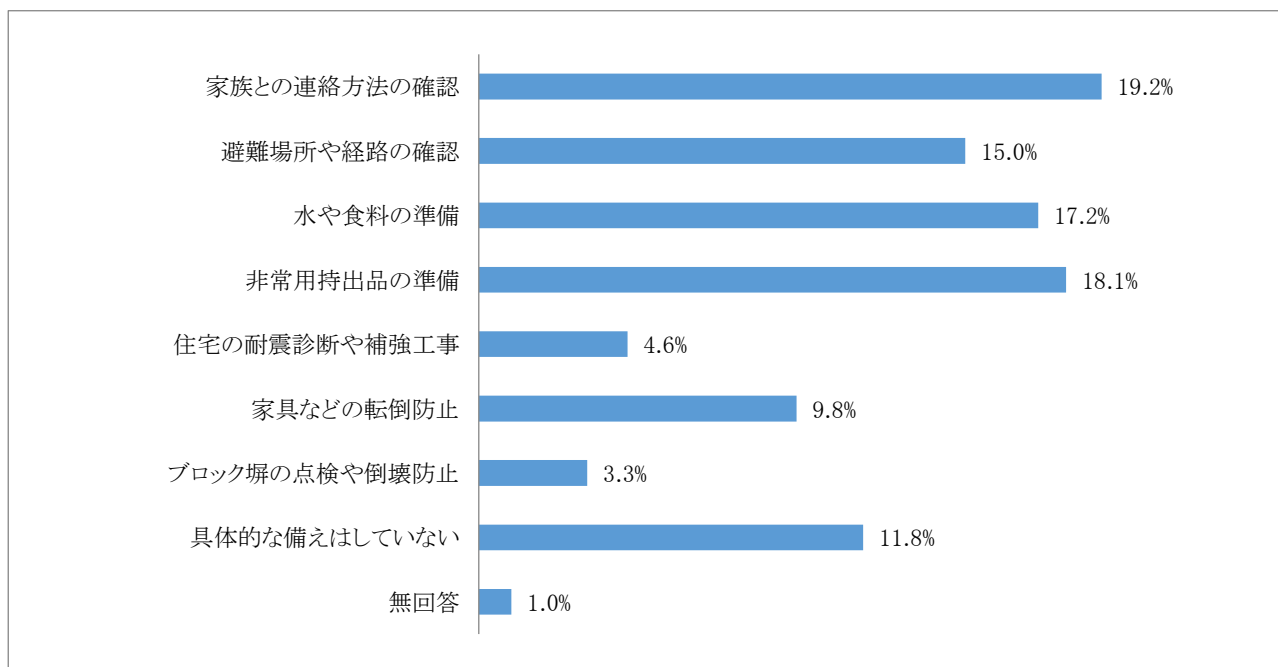
	回答数	構成比
決めている	829	83.2%
決めていない	152	15.3%
無回答	15	1.5%
計	996	100.0%



問 12 日頃から、どのような備えをしていますか。(複数回答可)

「具体的な備えはしていない」(11.8%)は前回(17.2%)から5.4ポイント減り、家庭における備えが普及しつつある結果となった。今後も様々な機会を捉えて啓発を続け、各家庭における防災意識の高揚に努めていく必要がある。

	回答数	構成比
家族との連絡方法の確認	399	19.2%
避難場所や経路の確認	314	15.0%
水や食料の準備	361	17.2%
非常用持出品（非常用ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の準備	379	18.1%
住宅の耐震診断や補強工事	96	4.6%
家具などの転倒防止	205	9.8%
ブロック塀の点検や倒壊防止	70	3.3%
具体的な備えはしていない	248	11.8%
無回答	21	1.0%
計	2,093	100.0%

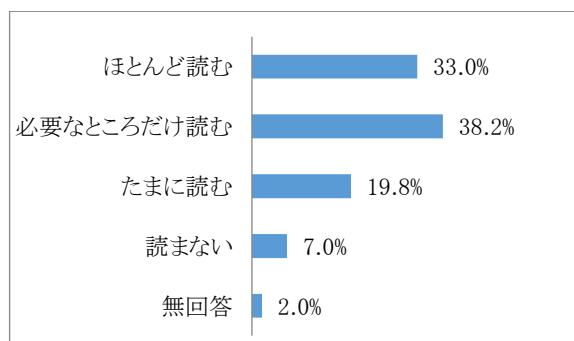


問 13 広報きりゅうを読んでいますか。

広報きりゅうを「ほとんど読む」(33.0%)と「必要なところだけ読む」(38.2%)、「たまに読む」(19.8%)を合計すると 91.0%と、多くの人が市政情報を得るための手段として広報きりゅうを活用していることがわかる。

今回の調査から市政情報を得るために広報きりゅうが有効に活用されていると考えられるが、今後も引き続き広報きりゅうの内容の充実を図り、市民の求める情報をわかりやすく伝えていく必要がある。

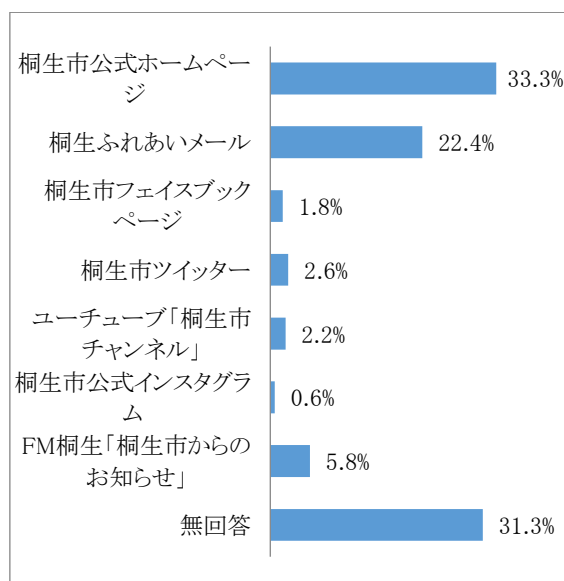
	回答数	構成比
ほとんど読む	329	33.0%
必要なところだけ読む	380	38.2%
たまに読む	197	19.8%
読まない	70	7.0%
無回答	20	2.0%
計	996	100.0%



問 14 市からの情報を得る手段として、広報きりゅう以外に何を利用していますか。

約 3 割の人が無回答だが、7 割近くの人が広報紙以外でも市からの情報を得ていることがわかった。中でも無回答を除くと全体の 4 割以上がホームページを、また 3 割近くの人がふれあいメールを利用していることがわかり、今後は、各媒体の内容充実により一層努めるとともに、市民が求める情報をよりわかりやすく伝えられるような運用を図りたい。

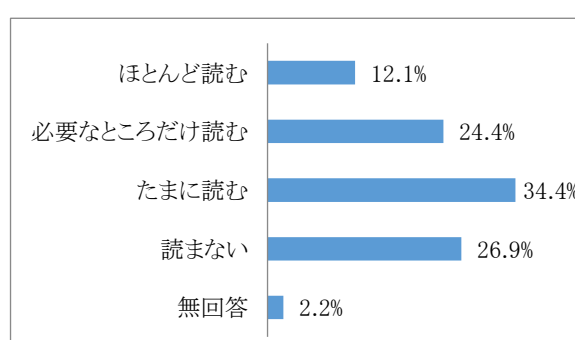
	回答数	構成比
桐生市公式ホームページ	414	33.3%
桐生ふれあいメール	280	22.4%
桐生市フェイスブックページ	23	1.8%
桐生市ツイッター	33	2.6%
ユーチューブ「桐生市チャンネル」	28	2.2%
桐生市公式Instagram	8	0.6%
FM 桐生「桐生市からのお知らせ」	73	5.8%
無回答	391	31.3%
計	1,250	100.0%



問 15 きりゅう市議会だよりを読んでいますか。

「たまに読む」が 34.4%と最も多く、さらに「必要なところだけ読む」(24.4%)と「ほとんど読む」(12.1%)を合わせると 70.9%であり、前回(75.7%)と比較して 4.8 ポイント減少した。また、「読まない」が 26.9%であり、前回(23.4%)と比較して、3.5 ポイント増加した。令和 3 年 2 月 1 日号より紙面をリニューアルし、レイアウトやフォント、色彩を見直しているが、結果としてまだ浸透していないと考える。「読まない」人の中から一人でも多くの人に読んでもらうため、今後、手に取って読んでみたいと思える紙面づくり、主に表紙について、さらに研究していく必要がある。

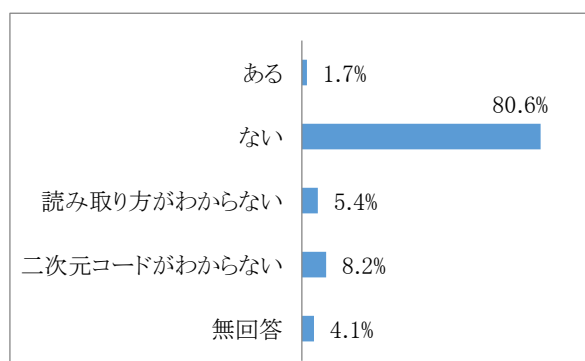
	回答数	構成比
ほとんど読む	121	12.1%
必要なところだけ読む	243	24.4%
たまに読む	342	34.4%
読まない	268	26.9%
無回答	22	2.2%
計	996	100.0%



問 16 きりゅう市議会だよりに掲載されている二次元コードを読み取ったことがありますか。

「ない」が 80.6%を占めており、「読み取り方がわからない」(5.4%)と「二次元コードがわからない」(8.2%)を合わせると 94.2%となった。「ある」については、1.7%とかなり低い結果であった。令和 3 年 2 月 1 日号にリニューアルの一環として初めて二次元コードを導入し、読み取り方を掲載したが、それ以降は読み取り方の掲載をしていないため、今後、読み取り方を掲載し、二次元コードをアピールする必要がある。

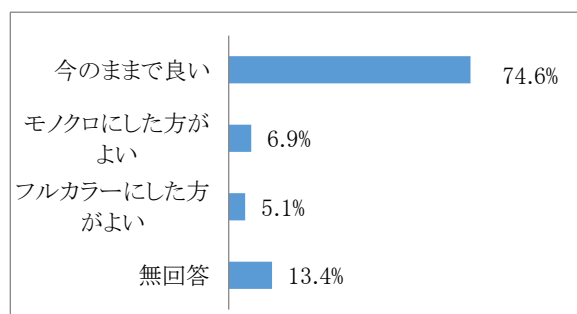
	回答数	構成比
ある	17	1.7%
ない	802	80.6%
読み取り方がわからない	54	5.4%
二次元コードがわからない	82	8.2%
無回答	41	4.1%
計	996	100.0%



問 17 きりゅう市議会だよりの色彩はどうですか。

「今のままで良い」が74.6%を占めており、「モノクロにしたほうがよい」が6.9%、「フルカラーにしたほうがよい」が5.1%という結果になった。このことから、色彩については、「今のままで良い」と考える。そのうえで、フルカラーが使える表紙及び裏表紙については、目を引くような色彩の工夫をし、2色刷りのページについては、デザインやコントラストを工夫し、より見やすくする研究をする必要があると考える。

	回答数	構成比
今のままで良い	743	74.6%
モノクロにした方がよい	69	6.9%
フルカラーにした方がよい	51	5.1%
無回答	133	13.4%
計	996	100.0%



市内の移動について

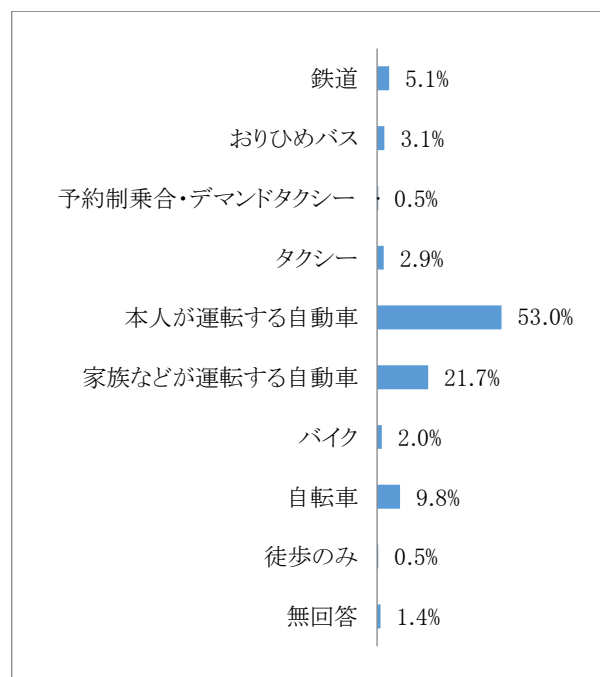
(広域連携推進室)

問 18 日常の移動手段には何を利用していますか。(複数回答可)

「本人が運転する自動車」(53.0%)が最も多く、「家族などが運転する自動車」(21.7%)が2番目となり、日常の移動手段の7割以上が自家用車で移動していることが分かった。

公共交通機関を利用している人は、全て合わせても1割程度であった。

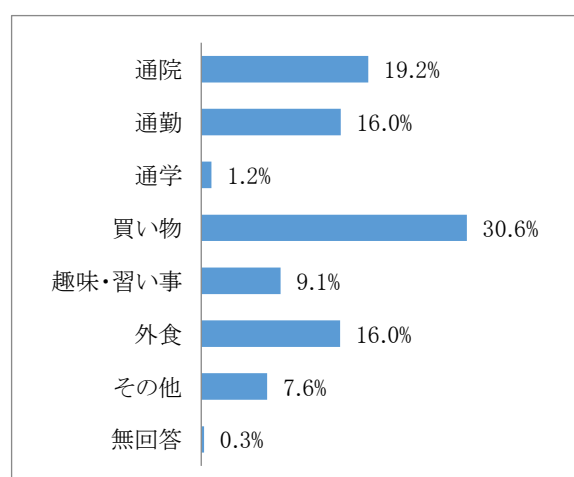
		回答数	構成比
①	鉄道	75	5.1%
②	おりひめバス	46	3.1%
③	予約制乗合・デマンドタクシー	7	0.5%
④	タクシー	42	2.9%
⑤	本人が運転する自動車	781	53.0%
⑥	家族などが運転する自動車	320	21.7%
⑦	バイク	30	2.0%
⑧	自転車	144	9.8%
⑨	徒歩のみ	7	0.5%
⑩	無回答	21	1.4%
	計	1,473	100.0%



問 19 問 18 で①～⑦と答えた人にお聞きします。主な利用の目的は何ですか。(複数回答可)

「買い物」(30.6%)が最も多く、次いで「通院」(19.2%)、「通勤」(16.0%)、「外食」(16.0%)「趣味・習い事」(9.1%)と続いた。

	回答数	構成比
通院	511	19.2%
通勤	427	16.0%
通学	31	1.2%
買い物	813	30.6%
趣味・習い事	243	9.1%
外食	425	16.0%
その他	202	7.6%
無回答	9	0.3%
計	2661	100.0%

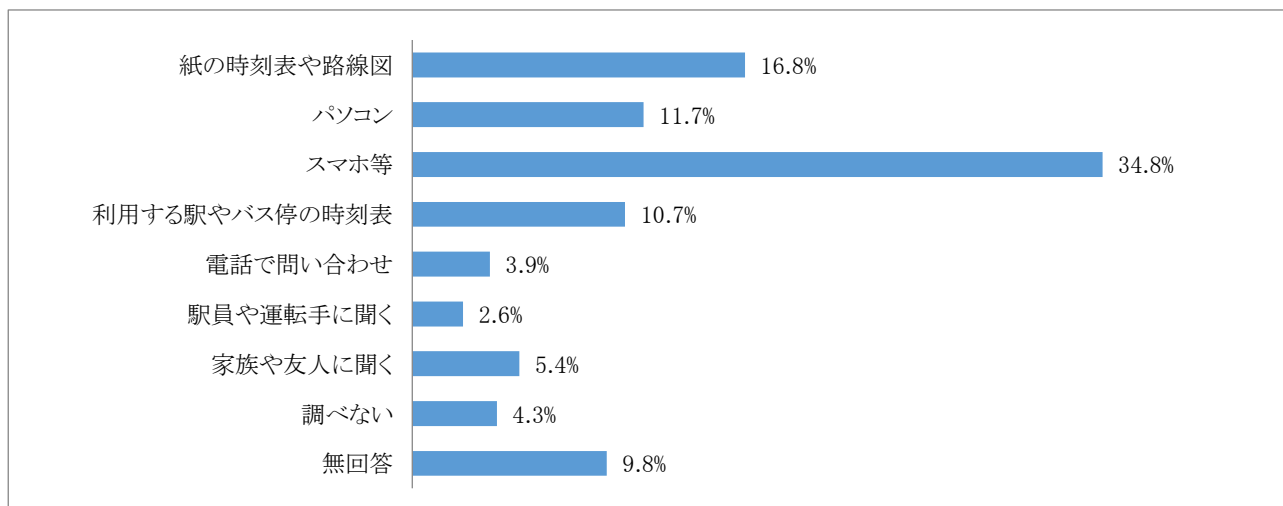


問 20 公共交通を利用する際、時刻や路線はどのように調べますか。(複数回答可)

「スマホ等」(34.8%)が最も多く、次いで「紙の時刻表や路線図」(16.8%)「パソコン」(11.7%)「利用する駅やバス停の時刻表」(10.7%)と続いた。

依然としてアナログな方法で運行情報を調べる人もいるが、それよりも多い半数近くの人がパソコンやスマートフォン等でインターネットを利用して運行情報を調べていることが分かった。

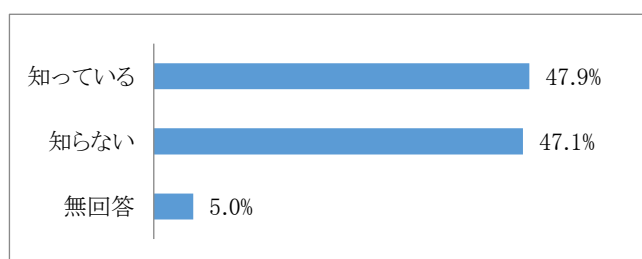
	回答数	構成比
紙の時刻表や路線図	236	16.8%
パソコン	164	11.7%
スマホ等	491	34.8%
利用する駅やバス停の時刻表	151	10.7%
電話で問い合わせ	55	3.9%
駅員や運転手に聞く	36	2.6%
家族や友人に聞く	76	5.4%
調べない	60	4.3%
無回答	138	9.8%
計	1407	100.0%



問 21 SDGsを知っていますか。

SDGsを知っているかたずねたところ、「知っている」は47.9%となっており、「知らない」の47.1%を0.8ポイント上回った。近年、メディアなどでSDGsが取り上げられ、桐生市においてもSDGsに関する情報発信等を行っているところであり、市民の間にもSDGsが一定程度浸透してきているものと考えられる。SDGsの目標達成には、市民一人ひとりがSDGsを意識して行動することが重要であることから、その第一歩としてSDGsへの理解をより一層深めてもらうため、積極的な啓発等に努めていくことが必要であると考えられる。

	回答数	構成比
知っている	477	47.9%
知らない	469	47.1%
無回答	50	5.0%
計	996	100.0%

問 22 次の①から⑧までの行動はSDGsの推進に役立つものとされています。あなたが日頃心掛けて
いる行動は何ですか。（複数回答可）

SDGsに資する行動（複数回答可）を既に行っている人の延べ人数は3730人（374.5%）であり、「何もしていない」と回答した人は26人（2.6%）、「無回答」は54人（5.4%）であった。回答者996人中、「何もしていない」と「無回答」の合計80人を除く916人（92.0%）は「SDGsに資する行動を一つ以上行っている」ということであり、この人数は問21における「SDGsを知っている」と「SDGsを知らない」の合計946人（95.0%）と比べて30人（3.0%）下回るだけである。このことから、SDGsを知っているかどうかに関わらず、ほとんどの人はSDGsに資する何らかの行動を既に行っていることが分かる。

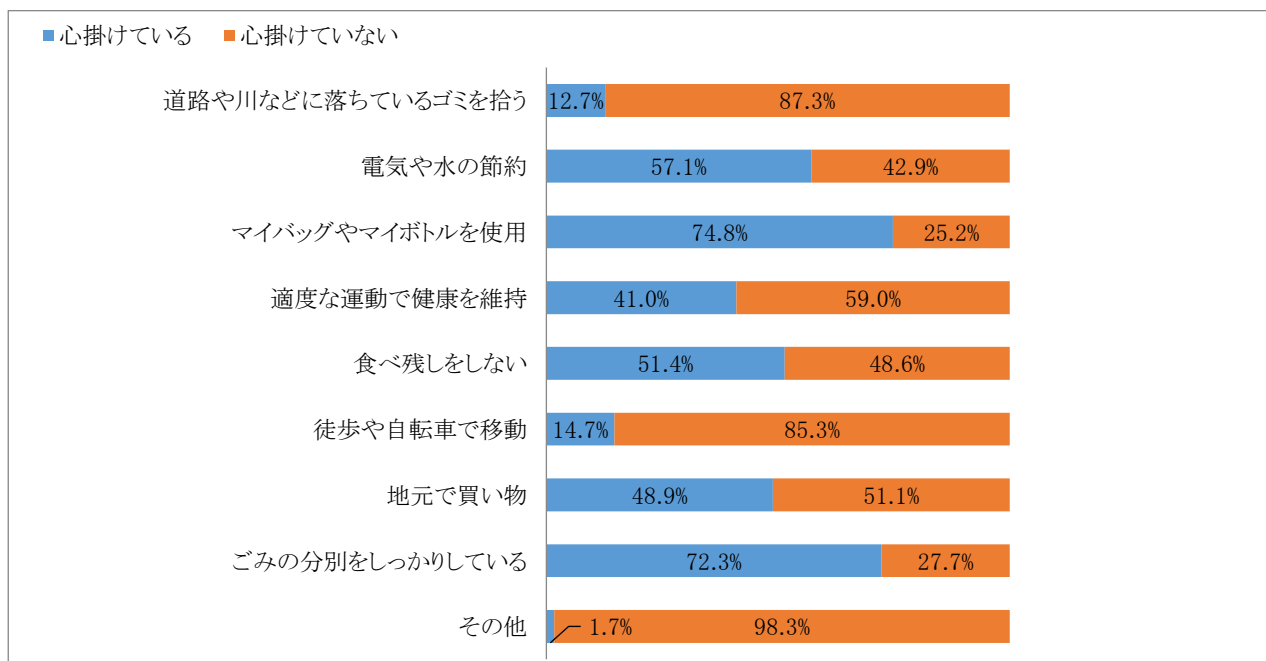
また、既に行っている行動を回答数が多い順に並べると、「マイバッグやマイボトルを使用」が745人（74.8%）、「ごみの分別をしっかりとっている」が720人（72.3%）、「電気や水の節約」が569人（57.1%）、「食べ残しをしない」が512人（51.4%）、「地元で買い物」が487人（48.9%）、「適度な運動で健康を維持」が408人（41.0%）、「徒歩や自転車で移動」が146人（14.7%）、「道路や川などに落ちているゴミを拾う」は126人（12.7%）、「その他」が17人（1.7%）となる。マイバッグ利用やごみの分別、食べ残しゼロといった、日常生活の中で比較的簡単に行える行動は半数以上の人が既に行っていることが分かる。

しかしながら、地元での買い物や運動といった、意識をやや高く持たなければ行動が喚起されないものについては半数を割り、徒歩・自転車で移動やごみを拾うといった、意識を特に高く持たなければ喚起されない行動をとる人の数が少ないことが分かる。SDGsの観点から見ると、これらの行動は、意識の高い一部の人だけが行うのではなく、市民一人ひとりが実行することが重要と言える。一人ひとりのS

DG s への理解度を高め、SDG s を意識してこれらの行動を実行できる市民の割合も高めていくために、今後より一層の啓発等に努めることが必要であると考えられる。

	心掛けている人の数	心掛けている人の割合	心掛けていない人の割合
道路や川などに落ちているゴミを拾う	126	12.7%	87.3%
電気や水の節約	569	57.1%	42.9%
マイバッグやマイボトルを使用	745	74.8%	25.2%
適度な運動で健康を維持	408	41.0%	59.0%
食べ残しをしない	512	51.4%	48.6%
徒歩や自転車で移動	146	14.7%	85.3%
地元で買い物	487	48.9%	51.1%
ごみの分別をしっかりとっている	720	72.3%	27.7%
その他	17	1.7%	98.3%

※「何もしていない」=26人(2.6%)、「無回答」=54人(5.4%)

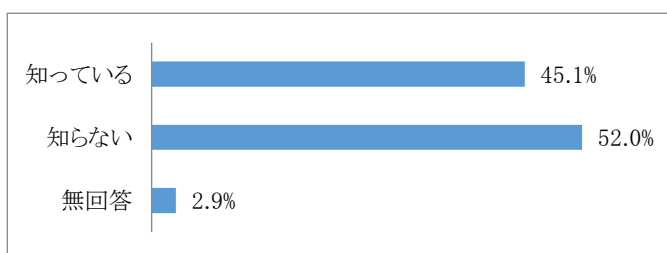


問 23 桐生市に「日本遺産（「かかあ天下 - ぐんまの絹物語 - 」）」があることを知っていますか。

「知っている」が 45.1%と半数弱で、「知らない」が 52.0%と、「知らない」方が多い状況というのは、「日本遺産」がまだまだ認識されていないこと、また、なじみがないことが推測され、周知が不足していることが考えられる。

今後は、今まで以上に「日本遺産」のメディア等への露出を増やし、若者向けの発信などターゲットを絞るなどの施策の展開を図り、市民へのより一層の周知に努めていきたい。

	回答数	構成比
知っている	449	45.1%
知らない	518	52.0%
無回答	29	2.9%
計	996	100.0%

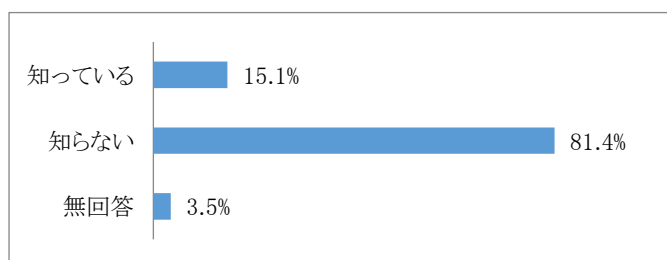


問 24 桐生市に「日本遺産」の構成文化財が 6 件あることを知っていますか。

「知らない」が 81.4%と「知っている」の 15.1%の 5 倍以上にもなっていることから、「日本遺産」に加え、「構成文化財」が何であるかが理解されていないと考えられる。設問のあり方も、「構成文化財が 6 件あることを」と説明的なこともなかったもので、わかりにくかったのではないかと推測される。設問のあり方にも工夫が必要と思われる。

今後は、「日本遺産」と「構成文化財 6 件」を一体的に周知していかないと、「日本遺産」だけ独り歩きしても、市内の構成文化財の浸透に結びつかないので、周知方法についても、ターゲットによって手法（SNS や紙媒体）を変えるなどの検討も必要である。

	回答数	構成比
知っている	150	15.1%
知らない	811	81.4%
無回答	35	3.5%
計	996	100.0%



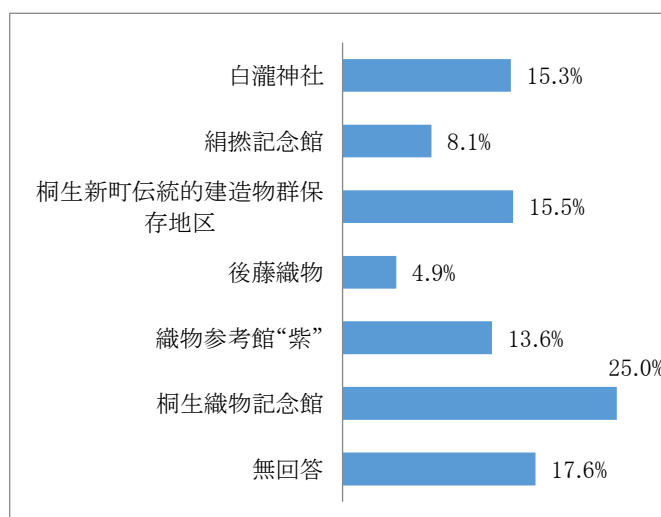
問 25 桐生市にある「日本遺産」の構成文化財を訪れたことがありますか。(複数回答可)

「桐生織物記念館」が 25.0%と 6 件の構成文化財の中で一番訪れたことが多く、他の構成文化財よりも 10 ポイントほど多かったことから、無料で見学できることに加え、販売も行っていることが大きな要因と考えられる。一方、後藤織物が 4.9%と一番少なかったのは、個人宅ということもあり、行きづらさがあつたのではないかとと思われる。

また、各構成文化財の訪問数の差については、アンケート対象が観光客ではなく市民なので、それぞれの施設に求めるニーズが違う部分もあるので、今後は、それぞれの構成文化財において訪問回数が増えるような施策を講じていきたい。

なお、絹撚記念館については、所管施設でもあるので、行ってみたくなるような企画展の開催に心掛けるとともに、より一層の周知を図っていきたい。

	回答数	構成比
白瀧神社	286	15.3%
絹撚記念館	151	8.1%
桐生新町伝統的建造物群保存地区	290	15.5%
後藤織物	91	4.9%
織物参考館“紫”	254	13.6%
桐生織物記念館	466	25.0%
無回答	328	17.6%
計	1,866	100.0%



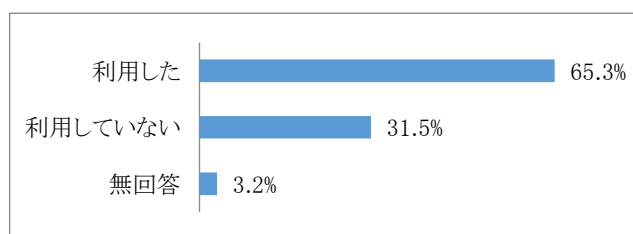
インターネットの利用状況について

(DX推進室)

問 26 あなたは、過去 1 年間に、インターネット（電子メール・メッセージの送受信、SNS の利用、ホームページの閲覧、情報の検索、オンラインショッピングなど）を利用しましたか。

過去 1 年間にインターネットを「利用した」が 65.3%、「利用していない」は 31.5%であった。行政手続のオンライン化及び地域社会のデジタル化を進めるうえで、デジタル技術の利用促進及び利用しやすい環境整備を進めていく必要がある。

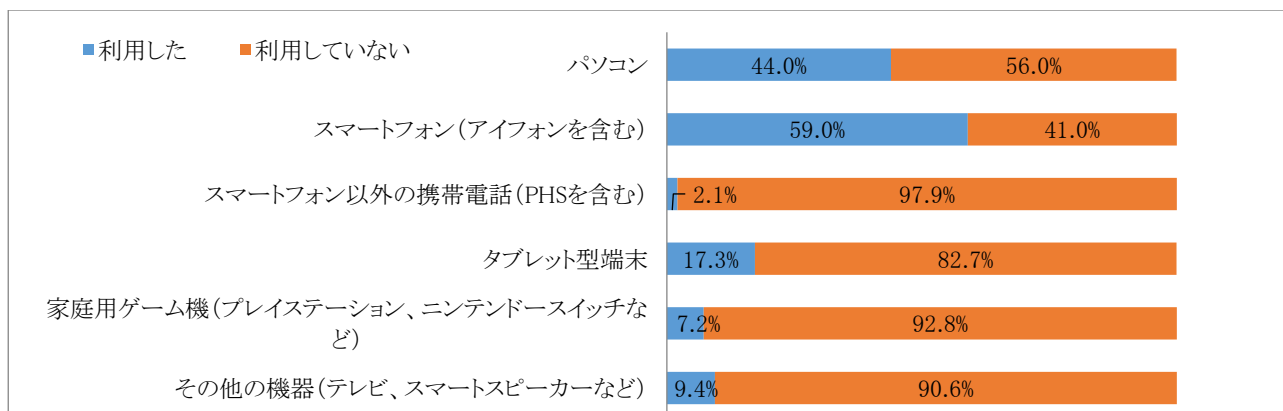
	回答数	構成比
利用した	650	65.3%
利用していない	314	31.5%
無回答	32	3.2%
計	996	100.0%



問 27 問 26（インターネットの利用）で「利用した」と答えた方にお聞きします。保有しているか否かに関わらず、過去 1 年間にあなたがインターネットを利用した機器は何ですか。（複数回答可）

回答者 996 人の内、「スマートフォン」の利用が最も多く 588 人（59.0%）、次いで「パソコン」が 438 人（44.0%）、「タブレット型端末」が 172 人（17.3%）であった。身近な機器であるスマートフォンを利用している人が過半数を占めている。

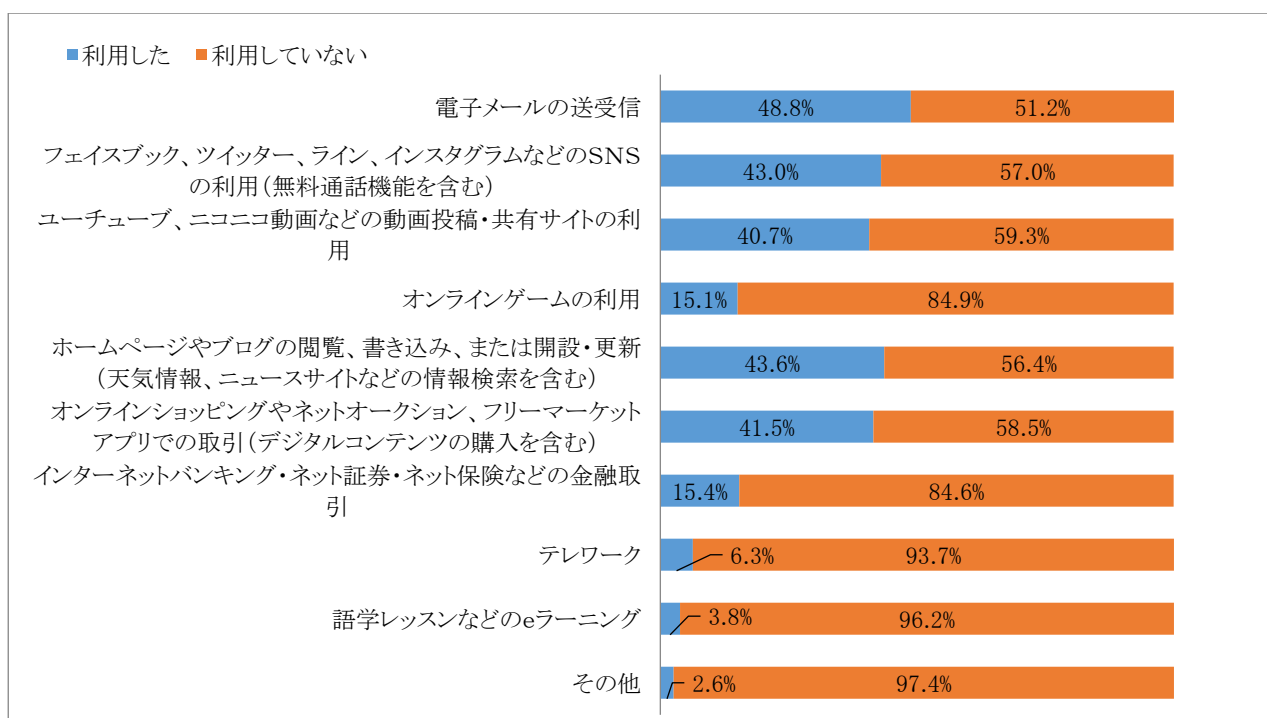
	利用者数	利用した割合	利用していない割合
パソコン	438	44.0%	56.0%
スマートフォン（ 아이폰を含む）	588	59.0%	41.0%
スマートフォン以外の携帯電話（PHSを含む）	21	2.1%	97.9%
タブレット型端末	172	17.3%	82.7%
家庭用ゲーム機（プレイステーション、ニンテンドースイッチなど）	72	7.2%	92.8%
その他の機器（テレビ、スマートスピーカーなど）	94	9.4%	90.6%



問 28 問 26（インターネットの利用）で「利用した」と答えた方にお聞きします。どのような目的でインターネットを利用しましたか。（複数回答可）

回答者 996 人の内、回答の多い順から「電子メールの送受信」486 人（48.8%）、「ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新」434 人（43.6%）、「SNS の利用」428 人（43.0%）などの結果となっており、幅広い目的のためインターネットが利用されている。

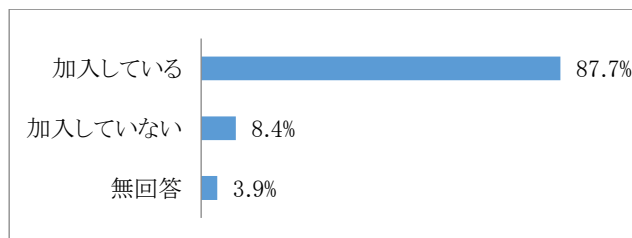
	利用者数	利用した割合	利用していない割合
電子メールの送受信	486	48.8%	51.2%
フェイスブック、ツイッター、ライン、インスタグラムなどの SNS の利用（無料通話機能を含む）	428	43.0%	57.0%
ユーチューブ、ニコニコ動画などの動画投稿・共有サイトの利用	405	40.7%	59.3%
オンラインゲームの利用	150	15.1%	84.9%
ホームページやブログの閲覧、書き込み、または開設・更新（天気情報、ニュースサイトなどの情報検索を含む）	434	43.6%	56.4%
オンラインショッピングやネットオークション、フリーマーケットアプリでの取引（デジタルコンテンツの購入を含む）	413	41.5%	58.5%
インターネットバンキング・ネット証券・ネット保険などの金融取引	153	15.4%	84.6%
テレワーク	63	6.3%	93.7%
語学レッスンなどの e ラーニング	38	3.8%	96.2%
その他	26	2.6%	97.4%



問 29 あなたの世帯は、自治会・町会に加入していますか。

「加入している」(87.7%) が9割近くであり、ほとんどの世帯が自治会に加入していることが窺える。

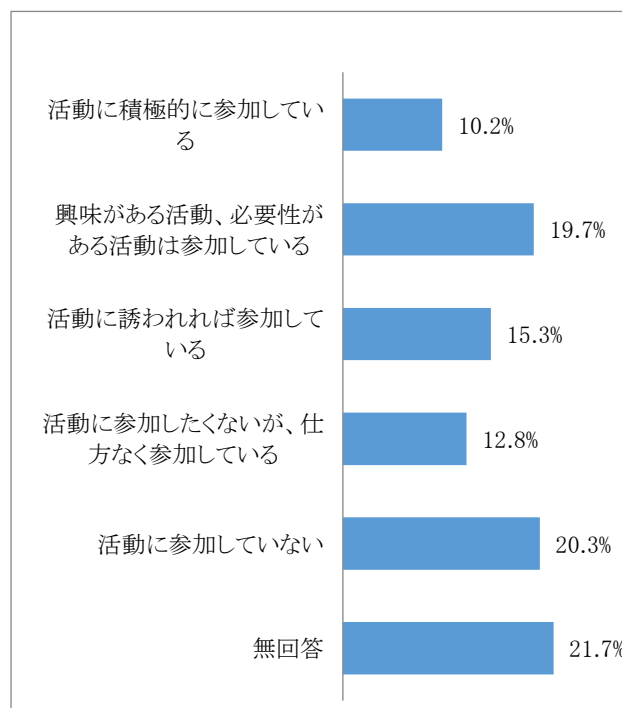
	回答数	構成比
加入している	873	87.7%
加入していない	84	8.4%
無回答	39	3.9%
計	996	100.0%



問 29-2 「加入している」と答えた人にお聞きします。どの程度、活動に参加していますか。

「活動に積極的に参加している」(10.2%) は全体の1割に満たず、多くの人が参加する活動を取捨選択していることが分かる。また、「活動に参加していない」(20.3%) の割合も高いため、まずは自治会がどのような活動を行っているのか理解していただき、活動に興味をもっていただく必要がある。

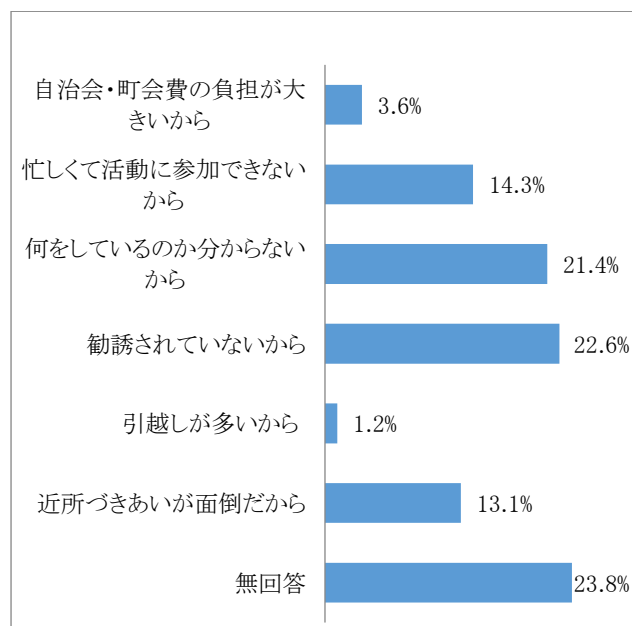
	回答数	構成比
活動に積極的に参加している	102	10.2%
興味がある活動、必要性がある活動は参加している	196	19.7%
活動に誘われれば参加している	152	15.3%
活動に参加したくないが、仕方なく参加している	127	12.8%
活動に参加していない	202	20.3%
無回答	217	21.7%
計	996	100.0%



問 30 問 29（自治会・町会への加入）で「加入していない」と答えた人にお聞きします。あなたが自治会・町会に加入していない理由はどのようなことですか。

「勧誘されていないから」（22.6%）、「何をしているのか分からないから」（21.4%）の割合が高く、加入していない人は、地元の自治会に関する情報を得ていない可能性がある。例えばアパート等に関しては、いわゆる共益費に自治会費を含めて地域の自治会に納めるのみとなっており、住人自身にも自治会に加入している意識がなく、従って地域との結びつきが希薄となっているところもあると思われる。このような人にも、自治会が防災、防犯、福祉など地域で安心して暮らせるために、行政では目の届かない地域の細やかな視点の活動を行っていることを知ってもらう必要があると思われる。

	回答数	構成比
自治会・町会費の負担が大きいから	3	3.6%
忙しくて活動に参加できないから	12	14.3%
何をしているのか分からないから	18	21.4%
勧誘されていないから	19	22.6%
引越しが多いから	1	1.2%
近所づきあいが面倒だから	11	13.1%
無回答	20	23.8%
計	84	100.0%

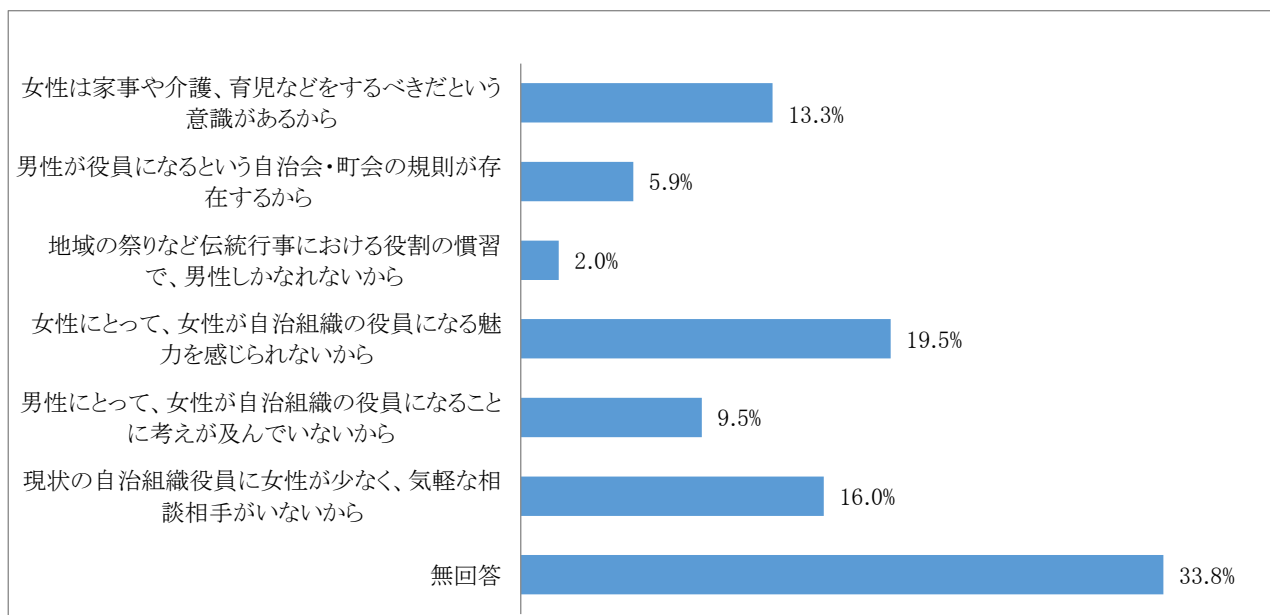


問 31 近年、女性の自治組織役員への登用を求める声が大きくなっておりますが、依然女性の自治会・町会役員は少ないままとなっております。その理由は何だと考えますか。

「女性にとって、女性が自治組織の役員になる魅力を感じられないから」(19.5%)、「現状の自治組織役員に女性が少なく、気軽な相談相手がいないから」(16.0%)、「女性は家事や介護、育児などをするべきだ」という意識があるから」(13.3%)の割合が高く、古くからの性別役割分担意識が根強く残っており、自治組織へ女性が参画するための環境が整っていないことが窺える。また、女性役員のモデルケースが少ないことが、女性が役員になることに対する抵抗感を高め、女性の登用を消極的にさせていると思われる。

近年、女性と男性がともに防災・復興に参画し、協力することにより災害に強い社会がつけられると言われ、女性視点での地域防災の取組が求められていることから、女性が自治会へ参画する必要があると思われる。

	回答数	構成比
女性は家事や介護、育児などをするべきだという意識があるから	132	13.3%
男性が役員になるという自治会・町会の規則が存在するから	59	5.9%
地域の祭りなど伝統行事における役割の慣習で、男性しかできないから	20	2.0%
女性にとって、女性が自治組織の役員になる魅力を感じられないから	194	19.5%
男性にとって、女性が自治組織の役員になることに考えが及んでいないから	95	9.5%
現状の自治組織役員に女性が少なく、気軽な相談相手がいないから	159	16.0%
無回答	337	33.8%
計	996	100.0%



第24回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

1 記載の状況

アンケート回収総数 996 人中、自由意見欄に記載があったのは 369 人で全体の 37.0%。記載者全体のうち男が 38.5%、女が 53.9%、その他 0%、回答しない 0%、無回答 7.6%である。

記載のあった割合は、第 23 回の 42.9%（799 人中 343 人）と比べ 5.9 ポイント減少した。

(1) 性別記載者数

男 142 人、女 199 人、その他 0 人、回答しない 0 人、無回答 28 人、合計 369 人。

(2) 区別記載者数

1 区から 22 区まで全ての区で記載者があり、最小は 1 区の 2 人、最大は 15 区の 67 人、無回答 8 人。

(3) 年代別記載者数

区分されている全ての世代に記載があり、最小は 18 歳から 29 歳までの 28 人、最大は 70 歳代の 83 人、無回答 3 人。

2 項目別内訳

記載内容は、1 人 1 件から、最大 7 件の記載があり、2 件以上について記載されているものについては、それぞれ別分類して 1 件とした。

分類の方法は、概ね事務分掌により分類したが、項目別で数が多いものについては事業名を参考にさらに細かく分類した。なお、賛成・反対の意見は別扱いとせず、1 つの項目とした（一部を除く）。

「活気のある（住みよい）まちづくりを希望します…」といったような、具体的な施策や内容などに触れられていないものについては、「市政運営」にくくって分類した。

3 項目別件数

前項の分類に従って作成した「自由意見記入欄項目別分類」で、分類した数は 109 項目 726 件。複数の課や事業に関わるものはそれぞれに掲載した。

項目別に数の多かったものは次のとおり（10 件以上）。

公共交通	48 件	職員の接遇	13 件
商業振興	44 件	動物園・遊園地	13 件
道路整備・管理	39 件	空き家・空き地対策	13 件
市政運営	37 件	税金	12 件
観光振興	23 件	職員の働き	12 件
公園整備・管理	21 件	情報発信	11 件
コロナウイルス対策	19 件	窓口サービス	11 件
子育て支援	18 件	産業振興	11 件
雇用対策・就労支援	17 件	交通安全	10 件

自治組織	16 件	高齢者支援	10 件
学校教育	16 件	経済対策	10 件
企業誘致	14 件	河川整備・管理	10 件

4 項目別件数（部局別）

部局別、項目別件数は次のとおり。

共創企画部 (17 項目 150 件)

公共交通	48 件	都市間連携	3 件
市政運営	37 件	公共施設管理	2 件
情報発信	11 件	地方創生	2 件
合併	9 件	広報きりゅう	2 件
学校跡地利用	9 件	大学連携	2 件
人口減少対策	7 件	SDGs	1 件
防災	7 件	キノピー	1 件
厚生総合病院	5 件	ふれあいトーク	1 件
CCRC	3 件		

総務部 (15 項目 70 件)

職員の接遇	13 件	庁舎管理	2 件
税金	12 件	ネーミングライツ	2 件
職員の働き	12 件	納税	1 件
庁舎建て替え	7 件	人事・職員管理	1 件
職員数・人件費	6 件	服務規律	1 件
行政改革	6 件	非核宣言都市	1 件
財政	3 件	ふれあいメール	1 件
税務	2 件		

市民生活部 (16 項目 93 件)

自治組織	16 件	防犯	4 件
窓口サービス	11 件	文化振興	4 件
交通安全	10 件	防犯灯	3 件
スポーツ振興	9 件	免許返納	3 件

広聴	8 件	動物愛護	3 件
「市民の声」アンケート	6 件	市民相談	3 件
ごみ収集	5 件	環境	2 件
男女共同参画	5 件	斎場	1 件

保健福祉部 (12 項目 65 件)

コロナウイルス対策	19 件	生活保護	4 件
高齢者支援	10 件	福祉医療	3 件
介護保険	6 件	国民健康保険	2 件
障がい者支援	6 件	成人保健	2 件
地域医療	6 件	医療助成	1 件
低所得者支援	5 件	福祉全般	1 件

子どもすこやか部 (5 項目 24 件)

子育て支援	18 件	野外活動センター	1 件
母子保健	2 件	青年の家	1 件
青少年育成	2 件		

産業経済部 (10 項目 125 件)

商業振興	44 件	経済対策	10 件
観光振興	23 件	農林振興	2 件
雇用対策・就労支援	17 件	鳥獣害対策	2 件
企業誘致	14 件	重伝建	1 件
産業振興	11 件	用水路	1 件

都市整備部 (14 項目 121 件)

道路整備・管理	39 件	緑化推進	4 件
公園整備・管理	21 件	市営住宅	4 件
動物園・遊園地	13 件	自然環境	3 件
空き家・空き地対策	13 件	住宅支援	2 件
河川整備・管理	10 件	都市計画	1 件
移住・定住	5 件	狭あい道路	1 件
コンパクトシティ	4 件	街路灯	1 件

地域振興整備局 (1 項目 1 件)

森林公園 1 件

消防本部 (1 項目 2 件)

消防 2 件

水道局 (4 項目 6 件)

下水道事業	2 件	水道事業	1 件
水道料金	2 件	水道水	1 件

議会事務局 (4 項目 17 件)

議員職務	9 件	議員数・給与	2 件
議会運営	4 件	市議会だより	2 件

教育委員会教育部 (10 項目 52 件)

学校教育	16 件	公民館	2 件
図書館	9 件	文化財	2 件
通学	9 件	特別支援学校	1 件
生涯学習	6 件	学校統廃合	1 件
学校給食	5 件	学校施設管理	1 件